

令和 4 年度

# 事業報告・決算書

自 令和 4 年(2022年) 4 月 1 日

至 令和 5 年(2023年) 3 月 3 1 日

社会福祉法人 越谷市社会福祉協議会



# 目 次

	ページ
<b>【はじめに】</b> .....	1
<b>【重点施策】</b> .....	1～ 3
<b>【事業報告】</b>	
I 社会福祉事業	
1 法人経営 .....	7～ 11
2 地域福祉総合推進事業 .....	12～ 35
3 共同募金配分事業 .....	36～ 41
4 生活支援総合推進事業 .....	42～ 46
5 愛の詩基金事業 .....	47～ 51
6 在宅福祉総合推進事業 .....	52～ 53
7 介護事業 .....	54～ 58
8 老人福祉センター事業 .....	59～ 69
9 障がい者支援事業 .....	70～ 85
II 公益事業	
1 公益事業 .....	86～103
III 収益事業	
1 収益事業 .....	104

## 【決算報告】

ページ

I	計算書類	
1	全体会計	107～122
	社会福祉事業区分	123～162
	公益事業区分	163～182
	収益事業区分	183～195
II	財産目録	197～200
III	附属明細書	201～271
IV	監査報告書	272

## 〈はじめに〉

本協議会は、地域福祉を推進する中核的な組織として、市民・地域・団体・行政等との連携を進め、地域の福祉課題や生活課題に向き合い、誰もが住み慣れた地域で、自立した生活が送れるよう地域共生社会実現のため、「第3次越谷市地域福祉活動計画」に基づき、各種事業に取り組みました。

令和4年度は、地域福祉を推進する重点事業として、地域住民による支え合い活動を広げるための体制整備事業や認知症や障がい等により判断能力が十分でない方々に対する権利擁護事業、コロナ禍での生活困窮世帯への緊急小口・総合支援資金(新型コロナウイルス感染症特例貸付)の貸付や償還に係る相談等のほか、地域福祉活動再開に向けた支援を行いました。

また、住民の困りごとに対して組織的に対応するため、相談支援体制の充実に向けた取り組みや、住民の複雑化・複合化した支援ニーズへの対応として、市より新たに重層的支援体制整備事業を受託し、包括的な支援体制の整備に向け取り組みました。

さらに、指定管理施設である老人福祉センター及び市民プールでは、シンコースポーツ株式会社と共同事業体を構成して管理運営を行い、健康増進関連の事業の充実を図りました。

なお、本協議会の事業実施にあたり、多くの市民の皆さまのご理解と、越谷市をはじめ、自治会、民生委員・児童委員協議会及び関係機関・団体の皆さまに、多大なご支援・ご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

## 〈重点施策〉

### 1 地域における福祉の基盤づくりの推進

福祉のまちづくりに向けた住民活動の充実を図るため、住民相互の協力により行われているふれあいサロン活動の運営支援や立ち上げ支援を行うとともに、活動の中心となる福祉推進員の養成研修を実施しました。

また、複雑化・複合化した住民の支援ニーズに対応するため、多機関が連携し、円滑に支援ができるよう調整役を担うとともに課題を抱えながらも支援が届いていない方に支援が届くよう、継続的な伴走支援を行いました。さらに、

市全域レベル（第1層）の地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）として、市内13地区に職員を配置し、地域の関係者や活動団体を繋いだり、地域レベル（第2層）の活動の展開に向けた支援を行いました。

## 2 地域における支え合い、助け合い活動の推進

住民相互の助け合いにより、日常生活に支障のある高齢者世帯や子育て世帯等に家事支援を行う、ほほえみサービス事業では、地域包括支援センター等と連携し、社協らしさを発揮し、住民ニーズにきめ細かく対応した事業を展開しました。

また、ファミリー・サポート・センター事業では、会員間による子育ての援助活動を支援することにより、児童福祉の向上を図るとともに地域の子育て支援機能を強化し、全ての親が安心して子育てできる環境づくりに努めました。

さらに、地域包括支援センターでは、介護予防ケアマネジメント業務や高齢者の実態把握、虐待への対応を含む総合相談に応じるとともに、地域の保健・福祉・医療サービスやボランティア活動、インフォーマルサービス等のさまざまな社会資源が、有機的に連携することができるよう、関係機関や地域住民との関係強化を図りました。

## 3 福祉教育の充実とボランティア活動の推進

市民のボランティア活動への理解と参加の促進を図るため、社協ホームページや社協だより、メール配信サービス等を活用した情報発信を行うとともに、福祉教育の充実を図るため、市内小中学校や地域などで実施される福祉体験等に本協議会職員が出向き、体験を通じて福祉についての理解や「共に生きる」ことの意味を理解するきっかけづくりとなるよう支援を行いました。

また、大規模災害が発生した際に迅速かつ効果的に災害支援活動が行えるよう越谷青年会議所と「災害時における協力体制に関する協定」を締結するとともに、災害ボランティア登録者や本協議会職員等を対象に災害ボランティアセンター立上訓練を行いました。

## 4 相談支援体制や権利擁護事業の充実

地域における様々な福祉課題及び生活課題に広く応じ、適切な支援と必要に

応じて、専門機関、福祉サービス等に繋げ、その福祉の充実を図ることを目的とした総合福祉相談では、重層的支援体制整備事業等との連携により相談支援体制の充実を図りました。

また、認知症や知的障がい、精神障がい等の理由により、判断能力が十分でない方々が地域で安心して生活できるよう、成年後見制度の普及、啓発に取り組むとともに、重篤な状態になる前に成年後見センターの相談に繋がるよう、関係機関との連携強化に努めました。

さらに、頼れる親族がいない一人暮らし高齢者等が安心して地域で暮らすことができるよう、みまもり・あんしん事業を実施し、見守りや急な入院時の支援、死後事務手続き等の援助を行うことにより、元気な時から死後の事務まで切れ目のないサービスを提供しました。

## 5 介護サービス事業の充実と健全経営

質の高いサービスを効率的・効果的に提供するため、個別ケースの検討を適宜行い、職員間で利用者の状況やサービス内容等を共有するとともに、ホームヘルプサービス事業では、全体会議や個別での研修を定期的実施することにより職員の資質向上に努めました。

また、制度改正に適切に対応しながら、安全かつ継続的なサービスの提供が行えるよう、人材の確保に努めるとともに、事業の効率化を進め、健全な経営に取り組みました。

## 6 地域福祉活動推進のための運営基盤の強化

住民の複雑化・複合化したニーズに対応するため、職員の国家資格の取得促進はもとより、研修会等への参加を促し、職員のスキルアップに繋がるよう努めました。

また、地域福祉活動を継続的に推進するための財政基盤強化のため、本協議会の事業を社協だよりや社協ホームページ、チラシ等で積極的にPRするとともに、自治会等の関係団体や事業所等にご協力をいただき、社協会員会費や愛の詩基金等の拡大に努めました。



# 事業報告



# I 社会福祉事業

## 1 法人経営

### (1) 法人経営

#### ① 理事会の開催

##### ア 第1回

- 期 日 令和4年(2022年)6月9日(木)
- 会 場 中央市民会館5階会議室
- 内 容 第1号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会評議員候補者の選定について(同意)
- 第2号議案 育児休業及び育児短時間勤務に関する規則の一部改正について(同意)
- 第3号議案 介護休業及び介護短時間勤務に関する規則の一部改正について(同意)
- 第4号議案 令和3年度社会福祉法人越谷市社会福祉協議会事業報告について(同意)
- 第5号議案 令和3年度社会福祉法人越谷市社会福祉協議会決算について(同意)
- 第6号議案 令和4年度社会福祉法人越谷市社会福祉協議会第1回評議員会について(同意)

○出席者 11人

※ 監督官庁による社会福祉法人指導監査について、専決処分についての報告を行う。

##### イ 第2回

- 期 日 令和4年(2022年)12月20日(火)
- 会 場 中央市民会館4階会議室
- 内 容 第1号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会評議員候補者の選定について(同意)
- 第2号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について(同意)
- 第3号議案 令和4年度社会福祉法人越谷市社会福祉協議会第2回評議員会について(同意)

○出席者 8人

※ 定款第21条第5項の規定に基づく会長及び常務理事の職務執行状況についての報告を行う。

##### ウ 第3回

- 期 日 令和5年(2023年)3月20日(月)
- 内 容 第1号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会理事候補者の選定について(同意)
- 第2号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会経理規程の一部改

- 正について（同意）
- 第3号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会給与規程の一部改正について（同意）
- 第4号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について（同意）
- 第5号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会常勤ホームヘルパー就業規則の一部改正について（同意）
- 第6号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会専任職員就業規則の一部改正について（同意）
- 第7号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正について（同意）
- 第8号議案 役員賠償責任保険の契約について（同意）
- 第9号議案 令和5年度社会福祉法人越谷市社会福祉協議会事業計画について（同意）
- 第10号議案 令和5年度社会福祉法人越谷市社会福祉協議会予算について（同意）
- 第11号議案 令和4年度社会福祉法人越谷市社会福祉協議会第3回評議員会について（同意）

○出席者 13人

## ② 評議員会の開催

### ア 第1回

○期 日 令和4年(2022年)6月28日(火)

○会 場 中央市民会館5階会議室

○内 容 第1号議案 令和3年度社会福祉法人越谷市社会福祉協議会事業報告について（承認）

第2号議案 令和3年度社会福祉法人越谷市社会福祉協議会決算について（承認）

○出席者 27人

※ 監督官庁による社会福祉法人指導監査についての報告を行う。

### イ 第2回

○期 日 令和5年(2023年)1月13日(金)

○内 容 第1号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会理事の選任について（承認）

○出席者 29人

### ウ 第3回

○期 日 令和5年(2023年)3月28日(火)

○内 容 第1号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会理事の選任について（承認）

第2号議案 令和5年度社会福祉法人越谷市社会福祉協議会事業計画について（承認）

第3号議案 令和5年度社会福祉法人越谷市社会福祉協議会予算について（承認）

○出席者 26人

### ③ 監事会の開催

#### ア 第1回

- 期 日 令和4年(2022年)年5月26日(木)
- 会 場 中央市民会館4階会議室
- 内 容 令和3年度事業報告及び社会福祉事業区分、公益事業区分、収益事業区分決算に係る監査執行

### ④ 正副会長会

#### ア 第1回

- 期 日 令和4年(2022年)6月2日(木)
- 会 場 中央市民会館5階会議室
- 内 容 理事会・評議員会に提案すべき議案について

#### イ 第2回

- 期 日 令和4年(2022年)12月6日(火)
- 会 場 中央市民会館5階会議室
- 内 容 理事会・評議員会に提案すべき議案について

#### ウ 第3回

- 期 日 令和5年(2023年)3月10日(金)
- 会 場 中央市民会館5階会議室
- 内 容 理事会・評議員会に提案すべき議案について

### ⑤ 評議員選任・解任委員会

#### ア 第1回

- 期 日 令和4年(2022年)6月21日(火)
- 会 場 中央市民会館5階会議室
- 内 容 評議員の選任について
- 出席者 3人

## (2) 指定管理

老人福祉センターけやき荘・くすのき荘・ゆりのき荘・ひのき荘、障害者福祉センターこぼと館、障害者就労訓練施設しらこぼと、市民プール（老人福祉センター4館及び市民プールについては、令和元年度からシンコースポーツ株式会社との共同事業体を構成）について、「指定管理者」として、継続的な業務改善活動を推進し、安全・安心をモットーに利用者満足度の向上に努めました。

なお、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、市民プール（トレーニングルーム含む）については、利用時間が変更となった期間があったほか、障害者福祉センターこぼと館、障害者就労訓練施設しらこぼとについては、夜間の貸館が休止となった期間がありました。

また、主催事業の実施については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止や内容の変更等を余儀なくされました。

## ○管理運営委員会

継続的な業務改善活動の進行管理を行うため、管理運営委員会を開催し、利用される方々から寄せられたご提案内容の検討、設備・備品の充実等を図り、安全で安心してご利用いただける施設運営を目指すための取り組みを積極的に実施しました。  
 (指定管理施設へのご提案件数) (単位:件)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	設備関係	利用方法	職員対応	その他
1 けやき荘	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
2 くすのき荘	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
3 ゆりのき荘	1(1)	1(1)	0(0)	2(2)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)
4 ひのき荘	2(0)	3(3)	0(0)	7(3)	4(2)	0(0)	0(0)	3(1)
5 市民プール	2(2)	9(9)	14(13)	16(16)	0(0)	13(13)	1(1)	2(2)
6 こばと館	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
7 しらこばと	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
合計	6(3)	13(13)	15(14)	26(21)	5(2)	14(14)	1(1)	6(4)

※ ( ) は、ご提案のうち回答した件数

## (3) その他

### ① 個人情報の保護

個人情報に関する方針（プライバシーポリシー）及び個人情報保護規程に基づき、職員だけでなく、事業に関わるボランティア活動者等に対し、保有する個人情報の適正な取り扱いを徹底するとともに、実施する福祉サービスを利用する方々の権利利益を保護し、事業運営に努めました。

### ② 情報公開

法人経営の透明性を確保し、事業に関わる個人情報がみだりに公にされることのないよう適切な管理を行い、非公開情報が記録されている場合を除き、公開申出者に対し、当該文書等を公開する体制の充実に努めました。

### ③ 苦情への対応・解決

事業を利用する方々や地域の方等から寄せられた苦情やご意見に適切に対応することにより、事業内容や職員対応等について迅速に改善を図り、本会に対する信頼の向上に努めました。

### ④ 職員研修の実施

職員研修計画に基づき、職場研修としてOJTや新任研修等を実施するとともに、職場外研修として専門研修・特別研修等に積極的に参加し、職員の資質を高め、より良いサービスの提供に努めました。

また、災害時における業務継続及び災害ボランティアセンター立ち上げのため、職員参集訓練を実施しました。

## ⑤ 実習生等の受け入れ

### ア 社会福祉援助技術現場実習（社会福祉士養成課程）

- ・受入校数 2校（埼玉県立大学、文教大学）
- ・受入人数 9人

### イ 老年看護実習

- ・受入校数 1校（日本医科学大学校）

## ⑥ 事業の共催及び後援

本会が広く社会福祉の増進に寄与するため、各種団体が行う事業に対し、共催及び後援をしました。

### ア 共催内容

- ・令和4年度福祉の仕事地域就職相談会（越谷会場）

### イ 後援内容

- ・第15回協働フェスタ（協働フェスタ実行委員会） ほか9件

〈共催・後援件数〉

（単位：件）

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
共催件数	4	5	1	1	1	100.0
後援件数	14	12	9	9	10	111.1

## ⑦ 被災地災害ボランティアセンター運営支援

静岡県社会福祉協議会からの協力要請に基づき、台風により被害を受けた被災地において、災害ボランティアセンターの運営支援を行いました。

### ア 令和4年台風第15号

#### 第4クール

- ・期 日 令和4年(2022年)10月12日(水)～10月16日(日) 5日間
- ・場 所 静岡県静岡市
- ・参加者 職員2人

#### 第8クール

- ・期 日 令和4年(2022年)10月24日(月)～10月28日(金) 5日間
- ・場 所 静岡県静岡市
- ・参加者 職員1人

#### 第12クール

- ・期 日 令和4年(2022年)11月5日(土)～11月9日(水) 5日間
- ・場 所 静岡県静岡市
- ・参加者 職員2人

## 2 地域福祉総合推進事業

### (1) 越谷市地域福祉活動計画

地域に根ざした「福祉のまちづくり」に取り組むため、越谷市が策定する第3次越谷市地域福祉計画と課題や理念を共有し相互に補完しあう、令和3年度(2021年度)から令和7年度(2025年度)までの5か年を計画の期間とした「第3次越谷市地域福祉活動計画」を策定し、この計画に基づき、各種事業の実施に取り組みました。

#### ○越谷市地域福祉活動計画推進委員会

第3次越谷市地域福祉活動計画の進行管理等についての協議を行うことを目的に、越谷市地域福祉活動計画推進委員会を開催しました。

##### ア 第1回

○期 日 令和4年(2022年)11月14日(月)

○会 場 中央市民会館4階会議室

○内 容 令和3年度における第3次越谷市地域福祉活動計画の進捗状況について

○出席者 6人

### (2) 協議会会員の募集

#### ○会員募集

会員制度は、「社協」の原則である住民主体に基づき、住民の自主的な参加による地域福祉活動推進の貴重な財源となる、重要な制度です。

募集の方法としては、社協だより等による広報啓発活動の他、自治会を通じて広く住民に協力を呼びかけるとともに、市内の関係福祉団体、事業所等に会員加入の依頼をしました。

さらに、法人会員の加入促進のため、越谷商工会議所や越谷法人会等と連携し、会報への記事掲載等のほか、236の事業所にダイレクトメールを郵送して、会員加入に向けた積極的な推進を図りました。なお、協力依頼の際には、本協議会が税額控除対象法人であることを周知し、個人の賛助・特別会員、事業所等への法人会員の加入をお願いしています。

今後は、さらに広報啓発を充実するなかで、地域福祉を担う「社協」の活動趣旨に賛同いただくよう、加入率の増加に努めます。

##### ア 会員の種類

○一般会員 1口 200円

自治会を通して、市内の各世帯に協力を依頼しました。

○賛助会員 1口 1,000円

主に賛同する個人等に協力を依頼しました。

○特別会員 1口 5,000円

主に篤志家、各種団体、社会福祉施設等に協力を依頼しました。

○法人会員 1口 10,000円

主に会社、事業所、社会福祉法人等に協力を依頼しました。

イ 募集方法

- 5月1日 社協だより（第241号）で会員募集
- 6月下旬 市内自治会を通じて、全世帯に協力依頼  
自治会扱いの会費納入事務について越谷市農協本支店に協力依頼
- 7月1日 増強運動期間（7月31日まで）
- 7月上旬 各地区民生委員・児童委員協議会で賛助会員・特別会員協力依頼  
越谷市職員に賛助会員・特別会員の依頼
- 8月上旬 会社、事業所等にダイレクトメールで法人会員の依頼
- 3月1日 社協だより（第246号）で令和4年度の社協会員会費の実績を報告し、賛助・特別・法人会員については、芳名を報告しました。

ウ 実績（次の表のとおり）

〈令和4年度 会員会費の実績〉

（単位：円）

区分	目安額	一般会費	賛助会費	特別会費	法人会費	合計	達成率(%)
桜井	2,200,200	1,236,300	0	0	0	1,236,300	56.2%
新方	931,200	850,840	0	0	0	850,840	91.4%
増林	1,157,200	686,200	0	5,000	0	691,200	59.7%
大袋	2,879,800	1,745,320	0	0	0	1,745,320	60.6%
荻島	618,200	618,800	0	0	0	618,800	100.1%
出羽	1,740,800	1,750,050	6,000	10,000	0	1,766,050	101.5%
蒲生	2,495,200	1,301,570	25,000	20,000	0	1,346,570	54.0%
南越谷	1,637,800	886,780	11,000	35,000	0	932,780	57.0%
大相模	1,222,400	706,180	0	0	0	706,180	57.8%
越ヶ谷	1,016,800	923,850	0	0	0	923,850	90.9%
大沢	1,333,400	856,180	0	0	0	856,180	64.2%
北越谷	699,800	245,330	0	0	0	245,330	35.1%
川柳	489,000	414,000	0	0	0	414,000	84.7%
小計	18,421,800	12,221,400	42,000	70,000	0	12,333,400	67.0%
社協扱		0	882,000	205,000	1,220,000	2,307,000	—
総計	18,421,800	12,221,400	924,000	275,000	1,220,000	14,640,400	79.5%

〈会員会費実績の推移〉

（単位：円）

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比
桜井	1,322,800	1,274,850	1,186,800	1,156,400	1,236,300	106.9%
新方	912,680	905,590	889,160	866,320	850,840	98.2%
増林	722,030	720,300	706,190	716,300	691,200	96.5%
大袋	1,726,591	1,844,948	1,826,278	1,671,423	1,745,320	104.4%
荻島	620,600	624,210	618,400	623,270	618,800	99.3%
出羽	1,793,600	1,804,950	1,804,450	1,772,450	1,766,050	99.6%
蒲生	1,407,600	1,359,600	1,408,100	1,326,900	1,346,570	101.5%
南越谷	1,013,792	1,004,262	1,001,364	967,632	932,780	96.4%
大相模	762,390	792,720	751,694	726,890	706,180	97.2%

越ヶ谷	931,700	929,500	891,700	866,900	923,850	106.6%
大 沢	959,300	944,500	1,036,050	860,200	856,180	99.5%
北越谷	255,000	225,000	243,000	245,000	245,330	100.1%
川 柳	393,600	407,600	408,000	408,400	414,000	101.4%
小 計	12,821,683	12,838,030	12,771,186	12,208,085	12,333,400	101.0%
社協扱	2,901,000	2,761,000	2,632,000	2,450,979	2,307,000	94.1%
総 計	15,722,683	15,599,030	15,403,186	14,659,064	14,640,400	99.9%

### (3) 地域福祉事業

#### ① 社協支部との連携

##### ○支部長会議

##### ア 第1回

- 期 日 令和4年(2022年)4月8日(金)
- 会 場 中央市民会館5階
- 内 容 令和4年度社会福祉協議会会員会費募集並びに共同募金運動について  
社会福祉協議会会員会費募集の取り組みについて  
令和3年度支部運営補助金・支部福祉事業補助金の報告について  
令和4年度支部運営補助金・支部福祉事業補助金の申請及び請求について

##### イ 第2回

- ※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面審議
- 期 日 令和4年(2022年)8月23日(火)
- 内 容 令和4年度赤い羽根共同募金の取り組みについて  
令和4年度歳末たすけあい募金の取り組みについて  
社会福祉協議会支部補助金要綱の改正について

#### ② 社協支部への支援

「みんなが参画し ともに築く 福祉のまちをめざして」をすすめるため、地域福祉・在宅福祉事業が地域の実状に合った総合的、体系的な福祉活動として展開されるよう、住民が主体となって取り組むための支援として13支部に運営費を交付しました。

また、関係各機関との調整や事業についての相談等、小地域ごとの推進体制づくりをすすめました。

・支部運営費…1,193,099円

#### ③ ふれあいサロン

ひとり暮らしや、家に閉じこもりがちで寂しさや不安を抱える高齢者等が、地

域の中でいきいきと暮らしていけるよう、地域住民が支えあい、安心して生活できる地域社会づくりを担うふれあいサロンの登録総数が110か所となりました。

また、ふれあいサロンの立ち上げにあたっては、相談、助言し、福祉推進員養成研修において、ふれあいサロンの事業説明や立ち上げについての説明を行い、新規サロン登録への働きかけを行いました。

〈開催状況の推移〉

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
会場数(か所)	111	119	114	113	110	97.3
延回数(回)	1,598	1,760	559	664	1,332	200.6
参加者(人) (福祉推進員を含む)	37,776	38,684	8,781	9,725	21,322	219.2

〈令和4年度サロン種別〉

(単位：箇所)

高齢者	子育て支援	多世代交流	介護者
82	7	19	1

〈サロン登録状況・地区別開催か所数〉

桜井	新方	増林	大袋	荻島	出羽	蒲生
10	7	6	15	8	6	11
南越谷	大相模	越ヶ谷	大沢	北越谷	川柳	広域
9	11	11	6	4	3	3

ア ふれあいサロン代表者会議

※北部、南部で午前午後に分けて開催

○期 日 令和4年(2022年)10月6日(木)

○会 場 中央市民会館4階会議室

○内 容 「守りのプロによる高齢者向け訪問講座」について  
情報交換会／グループワーク

○出席者 55人

④ 福祉推進員

小地域福祉活動の推進を図るため、市民参加型の小地域活動を活発化し、地域のニーズにきめ細かく対応できる活動やサービスを構築することを目的に、新たに福祉推進員を33人委嘱し、活動に結び付けました。

・福祉推進員数…546人(令和5年(2023年)3月31日現在)

ア 福祉推進員の養成

○福祉推進員養成研修

回	開催日	会場	内容	講師	委嘱者数(人)
1	6月14日(火)	中央市民会館 会議室	【事前説明会】 「社会福祉協議会、福祉推進員、ふれあいサ	埼玉県立大学 保健医療福祉学部 准教授 保科寧子 氏	16

2	11月 8日 (火)		ロン」についての説明 【養成研修】 「福祉推進員研修」	17
---	------------	--	-----------------------------------	----

#### イ 福祉推進員の育成

##### ○福祉推進員研修会

スマートフォンの使い方を地域の方に教えるボランティアを養成する講座「スマートフォンマイスター養成講座」を実施しました。

詳しくは、P33（11）ボランティア体験学習事業⑤ボランティア専門講座をご覧ください。

##### ○スマートフォンマイスターフォローアップ研修

スマートフォンマイスターへのフォローアップとして、越谷市が推進する「スマートフォンの健康アプリ『脳にいいアプリ』を活用した高齢者の生きがいづくり・フレイル予防」に向けた取組みの説明及び実践を行う研修会を実施しました。

○期 日 令和5年(2023年)2月27日(月)

○会 場 中央市民会館5階会議室

○内 容 スマートフォンマイスターの養成及び各種取組みの状況の報告  
健康アプリ説明

○出席者 41人

#### ⑤ 地域福祉出前講座

社協事業のPRと理解促進のため、職員が出前講座を行いました。

〈実施内容別件数〉

(単位：件)

区 分	社協事業	ふれあいサロン	成年後見センター	災害・防災	その他	計
自治会	1	0	0	0	0	1
民 協	0	0	2	0	0	2
福祉施設	0	0	0	0	0	0
その他	6	0	7	1	7	21
合 計	7	0	9	1	7	24

#### ⑥ 地域包括支援ネットワーク会議への参加

各地区の地域包括支援センターが主催する、高齢者等が安心して地域で暮らすことができるよう見守りや助け合いを目的とした「越谷市地域包括支援ネットワーク」の取り組みの中で、地域における連携維持や情報共有、課題検討のため、地域包括支援ネットワーク会議に参加しました。

自治会、民生委員・児童委員、福祉推進員等の地域の皆さんや協力機関・団体等の方々が参加し、「認知症」「社会資源」「見守り」などについて話し合いが行われました。

#### ⑦ マスコットキャラクターの活用

マスコットキャラクター「ハートん」を活用し、幅広い世代の方々に身近で親しみやすく興味、関心が得られるよう広報活動を行いました。

#### (4) 生活支援体制整備事業（市受託事業）

高齢になっても住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、地域ぐるみの支え合いの体制づくりを構築することを目的として、職員6人を地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）として配置し、地域支え合い会議（協議体）で関係者間の情報共有等を図りました。

また、「生活支援サービスの把握、開発及び支援」と「関係者のネットワーク化」を目標に、地域における通いの場等をはじめとした社会資源の把握のほか、関係機関・団体に対する事業内容の周知等に努めました。

##### ① 生活支援サービスの把握、開発及び支援

生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していく中で、住民主体のサービスの基盤を構築するため、地域における住民主体の通いの場や地域の団体が活動を行う場所として活用可能な地域交流スペース等の情報の把握に努めました。

〈実施状況（生活支援コーディネーターが関わった延べ件数）〉

資源調査	通いの場	203件
	有効スペース	35件
	支え合い活動	44件
資源リストの作成・周知		0件
活動の立上げ支援		220件
立上げマニュアルの周知		0件
自立支援型ケース検討会議の出席		19件
その他		5件

##### ② 関係者のネットワーク化

市全域レベル（第1層）の地域支え合い会議への出席のほか、各地区で地域レベル（第2層）の展開を進めました。各地区に地域支え合い推進員を配置し、地域支え合い会議の設置に向けた勉強会等を通して関係者のネットワーク化を行いました。

〈実施状況（生活支援コーディネーターが関わった延べ件数）〉

第2層	会議の設置・支援	159件
	コーディネーターの調整・支援	167件
関係機関・団体の情報共有		991件
サービス提供主体間の体制づくり		139件
その他		5件

ア 市全域レベルの地域支え合い会議（市主催）への出席

開催日	会場	内容
1月16日（月）	中央市民会館	第2層地域支え合い会議の進捗報告及び情報交換

イ 地域レベルの地域支え合い会議の開催

越ヶ谷地区（2018年度～）

開催数 (通算)	開催日	会 場	主な内容	参加者数 (1層CD除く)
17回	6月20日	越ヶ谷地区センター	・赤山町一丁目自治会館でのイベント（第2弾）、当日の役割分担について	14人
—	6月24日 6月25日	赤山町一丁目自治会館	・イベント第2回『チョット会おうよ話そうよ』開催（赤山町一丁目自治会館）	延55人
18回	9月26日	越ヶ谷地区センター	・第2回イベントの振り返り、共有 ・今後の開催について	13人
—	11月19日 11月20日	御殿町自治会館	・イベント第3回『チョット会おうよ話そうよ』開催（御殿町自治会館）	延54人
19回	12月19日	越ヶ谷地区センター	・第3回イベントの振り返り、共有 ・今後の開催について	12人
20回	3月13日	〃	・イベント開催地域のその後について ・第4回イベントについて、当日の役割分担など	11人
—	3月18日 3月19日	東越谷四丁目自治会館	・イベント第4回『チョット会おうよ話そうよ』開催（東越谷四丁目自治会館）	延45人

川柳地区（2018年度～）

開催数 (通算)	開催日	会 場	主な内容	参加者数 (1層CD除く)
13回	6月23日	ひのき荘	・スマートフォンを活用した居場所づくりについての情報交換	15人
14回	9月22日	〃	・学生ボランティアによるスマホ相談会について	10人
—	10月30日	〃	・叡明高等学校の学生ボランティアによるスマホ相談会を老人福祉センターひのき荘で開催	延45人
15回	12月22日	〃	・スマホ相談会の振り返り ・高齢者のスマホ活用促進の取組みについて	12人
16回	3月23日	〃	・「Wi-Fi って何？」講座 ・「脳にいいアプリ」説明会	延12人

桜井地区（2019年度～）

開催数 (通算)	開催日	会 場	主な内容	参加者数 (1層CD除く)
8回	4月20日	桜井地区センター	・「桜井笑顔の会」活動報告 ・新しい目標についてのグループワーク	18人
9回	8月10日	くすのき荘	・「桜井笑顔の会」活動報告 ・オレンジカフェについて	17人
10回	10月26日	〃	・「桜井笑顔の会」活動報告 ・オレンジカフェさくらの報告 ・新しい目標を居場所づくりに決定	11人

11回	1月18日	桜井地区センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「桜井笑顔の会」活動報告</li> <li>・居場所づくりに向け、秋ごろにイベント開催を決定</li> </ul>	18人
-----	-------	----------	---	-----

### 新方地区（2019年度～）

開催数 (通算)	開催日	会場	主な内容	参加者数 (1層CD除く)
7回	6月6日	新方地区センター	・移動スーパーとくし丸説明会	25人
8回	9月15日	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動スーパーとくし丸の報告</li> <li>・スマートフォンの利用についてグループワーク</li> </ul>	14人
9回	12月15日	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小平推進員によるスマホ講座</li> <li>・次回の内容について</li> </ul>	12人
10回	2月2日	〃	・会議参加者によるスマホサロン実施	15人

### 荻島地区（2019年度～）

開催数 (通算)	開催日	会場	主な内容	参加者数 (1層CD除く)
8回	4月26日	荻島地区センター	・模擬スマホ入門講座（講師：ソフトバンク、※会議メンバーのみ対象）	17人
9回	7月26日	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の展開について協議</li> <li>「参加者同士が相互に教えあうスマホサロン」の実施を決定</li> </ul>	13人
10回	10月25日	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者同士が相互で教えあう「スマホサロン」開催</li> </ul>	延べ 35人
11回	1月24日	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホサロンの振り返り</li> <li>・今後の取り組みの検討（スマホを通じたふれあいを目指す）</li> </ul>	14人

### 大袋地区【千間台西エリア】（2020年度～）

開催数 (通算)	開催日	会場	主な内容	参加者数 (1層CD除く)
4回	4月4日	千間台記念会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の方向性について</li> <li>○ふらっと立ち寄れる場所づくり</li> <li>○高齢者のスマホ活用</li> <li>・令和4年度の企画案</li> </ul>	32人
5回	6月10日	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度企画案の確認</li> <li>・グループワーク</li> </ul>	28人
6回	10月4日	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオン薬局健康相談会に関する検討</li> <li>・スマホ相談会に関する検討</li> </ul>	22人
7回	12月9日	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動報告</li> <li>・「脳にいいアプリ」のデモンストレーション</li> </ul>	26人

8回	2月7日	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度の振り返り</li> <li>・令和5年度の取り組み検討</li> <li>○「脳にいいアプリ」の利用促進について、「まちなかキャンパス」プログラム検討</li> </ul>	22人
----	------	---	--	-----

### 大袋（北部市民会館会場）地区（2020年度～）

開催数 (通算)	開催日	会 場	主な内容	参加者数 (1層CD除く)
1回	5月13日	北部市民会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支えあいサポートの必要性</li> <li>・グループワーク 「年代別での興味・関心事」</li> <li>・今後について</li> </ul>	13人
2回	10月7日	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生（IVUSA）からの企画案</li> <li>・地域の有効スペースでの取組事例</li> <li>・目標設定（居場所づくり、情報リスト作成）</li> </ul>	12人
3回	1月6日	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お試し企画 学生（IVUSA）と企業（ウエルシア）との連携による「スマホ相談会」実施について</li> </ul>	12人
—	3月3日	ウエルシア大 房店	学生（IVUSA）と企業（ウエルシア）の連携による「スマホ相談会」	参加者 19人 学生8人

### 増林地区（2020年度～）

開催数 (通算)	開催日	会 場	主な内容	参加者数 (1層CD除く)
4回	6月23日	障害者就労訓 練施設 しらこぼと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワーク</li> <li>○散歩コースを地図に落とし込もう</li> </ul>	21人
5回	10月18日 10月20日	増林地区内	「増林地区を歩こう」を開催 2日に分け、4ルートのコースを歩く	22人
6回	11月24日	増林地区セン ター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「増林地区を歩こう」の報告</li> <li>・今後の流れについて確認</li> </ul>	21人
7回	1月12日	増林地区セン ター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成したお散歩マップに情報の落とし込み</li> </ul>	15人

### 大沢地区（2020年度～）

開催数 (通算)	開催日	会 場	主な内容	参加者数 (1層CD除く)
—	4月24日	大沢地区セン ター	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大沢地区コミュニティ推進協議会 福祉・ふれあい部会（臨時会）に出席</li> <li>・高齢者ふれあいの集い事業打ち合わせ</li> </ul>	—

—	7月9日	〃	○大沢地区コミュニティ推進協議会 福祉・ふれあい部会に出席 ・高齢者ふれあいの集い事業打ち合わせ	—
—	10月11日	〃	○第1回高齢者ふれあいの集い事業 ・ACPの講話 ・歌謡ショー	35人程
—	12月6日	〃	○第2回高齢者ふれあいの集い事業 ・包括大沢による介護保険の講話 ・津軽三味線、歌謡ショー	20人程
—	1月20日	〃	○第3回高齢者ふれあいの集い事業 ・葬儀事情について ・琴、歌謡ショー	30人程

大沢地区については、新たに地域支え合い会議を立ち上げるのではなく、コミュニティ推進協議会の福祉・ふれあい部会の後方支援として、第1層生活支援コーディネーターが関わることとなっています。(2021年度～)

### 南越谷地区 (2021年度～)

開催数 (通算)	開催日	会場	主な内容	参加者数 (1層CD除く)
2回	6月9日	南越谷地区センター	・多世代交流についてのグループワーク	17人
3回	9月8日	〃	・多世代交流に於いて、若い方の参加の工夫について	12人
4回	12月8日	〃	・埼玉東萌短期大学前徳教授参加 ・学生ボランティア協力について	15人
—	1月14日	埼玉東萌短期大学	埼玉東萌短期大学主催 公開講座「紙芝居・絵本をたのしもう！」へ参加	12人
5回	3月9日	南越谷地区センター	・学生による、絵本読み聞かせイベントの企画案の検討 ・高齢者支援について	15人

### 蒲生地区 (2021年度～)

開催数 (通算)	開催日	会場	主な内容	参加者数 (1層CD除く)
1回	4月18日	蒲生地区センター	・グループワーク 「あったらいいな」の分類、住民主体でできること	14人
2回	7月11日	〃	・グループワーク「会議の目標について考える」「集いの場と多世代交流について」	16人
3回	10月12日	〃	・子どもも来れる居場所づくり、安心して暮らせる地域づくりについて ・「目標達成に向けて必要なことは何か」の話し合い	14人
4回	2月13日	〃	・他地区での取り組みについて共有、今後の蒲生地区での取り組みについて	17人

## 北越谷地区（2021年度～）

開催数 (通算)	開催日	会 場	主な内容	参加者数 (1層CD除く)
2回	6月20日	北越谷地区センター	・各自治会の取り組みについて意見交換 ・通いの場利用促進イベントを目標に	10人
3回	9月21日	〃	・イベントの内容についてグループワーク	14人
4回	12月21日	〃	・イベントの開催日時、場所を決定	17人
5回	3月15日	〃	・イベント参加団体の選定 ・イベント名称を「家を出て、会おう！話そう！笑い合おう！」に決定	14人

## 出羽地区（2022年度～）

開催数 (通算)	開催日	会 場	主な内容	参加者数 (1層CD除く)
勉強会 1回目	8月19日	出羽地区センター	・地域の支え合いを広げる取り組みについて ・モデル地区の取組と今後のスケジュールについて	22人
勉強会 2回	10月21日	〃	・出羽地区の概況について ・課題把握・目標設定に向けたワーク	13人
1回	1月27日	〃	・目標設定に向けたワーク（住民でできること）	16人

## 大相模地区（2022年度～）

開催数 (通算)	開催日	会 場	主な内容	参加者数 (1層CD除く)
勉強会 1回目	9月8日	大相模地区センター	・地域の支え合いを広げる取り組みについて ・モデル地区の取組と今後のスケジュールについて	33人
勉強会 2回	11月10日	〃	・大相模地区の概況について ・課題把握・目標設定に向けたワーク	17人
1回	2月24日	〃	・目標設定に向けたワーク（住民でできること）	20人

### ③ 担い手養成研修の実施

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、支援が必要な高齢者や地域福祉へ理解と関心を深め、生活支援サービス（家事支援や見守り等）の担い手となる人材の養成研修を2日間の日程で開催しました。

#### ア 実施状況

	日程	修了者数
第1回	7月12、14日	22人
第2回	1月23、26日	27人
合 計		49人

## イ 開催実績

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
開催回数 (回)	4	1	2	2	100.0
修了者数 (人)	75	15	69	49	71.0

### ④ その他

スマートフォンの使い方を地域の方に教えるボランティアを養成する講座「スマートフォンマイスター養成講座」を実施しました。

詳しくは、P33 (1 1) ボランティア体験学習事業⑤ボランティア専門講座をご覧ください。

## (5) 重層的支援体制整備事業 (市受託事業)

複雑化・複合化した地域生活課題等の解決に向け、これまで分野ごとに実施していた、相談・地域づくりに関連する事業や制度の縦割りを解消し、創意工夫による相談支援体制を整備し、包括的かつ継続的な対応を目指すため、越谷市では令和4年度から重層的支援体制整備事業が開始されました。

当協議会では、社会福祉法第106条の4に規定された重層的支援体制整備事業の趣旨を踏まえ、相談支援 (多機関協働事業、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業)、参加支援事業について一体的に実施しました。

### ① 相談・事業利用実績

相談件数 (令和4年7月～令和5年3月)	20件
うち重層的支援会議・支援会議で協議した数	8件
会議における協議回数	10回

### ② 重層的支援会議・支援会議

重層的支援会議・支援会議とは、複雑的・複合的な課題を抱える世帯の相談ケースに対し、関係機関が一堂に会して支援プランを協議する会議のことです。

関係機関がその世帯の状況を把握し、支援プランを協議・共有することで、世帯に対する包括的で伴走的な支援を行うことが可能になります。

回数	期 日	会議種別	相談種別
第1回	9月13日 (火) 13:30～17:00	事例1 (重層)	高齢、障がい、困窮
		事例2 (支援)	障がい、困窮、児童
		事例3 (支援)	高齢、障がい、困窮
第2回	11月18日 (金) 13:30～17:00	事例1 (重層)	高齢、障がい、困窮
		事例2 (重層)	高齢、障がい、困窮
		事例3 (重層)	高齢、障がい、困窮
第3回	2月16日 (木) 11:00～16:15	事例1 (重層)	高齢、障がい、困窮
		事例2 (支援)	高齢、障がい、困窮

		事例3（重層）	障がい、困窮
		事例4（支援）	高齢、障がい、困窮

### ③その他

#### ア 会議、研修への参加

会議名	期 日	会 場	内 容
越谷市地域共生社会の実現に向けた庁内連絡会議	5月23日（月）	宅建会館	○地域共生社会と重層的支援体制整備事業について ○重層的体制整備事業実施マニュアルについて
重層的支援体制整備事業の実施に伴う包括的相談支援事業者向け説明会	5月26日（木）	中央市民会館	○重層的体制整備事業実施マニュアルについて ○重層的支援会議実施時のフローと事業対象者（例）について
地域福祉に係わる関係団体 交流・連絡会	7月26日（火）	中央市民会館	○重層的支援体制整備事業について ○意見交換
重層的支援体制構築推進人材養成研修	7月27日（水）	オンライン	○包括的支援体制の構築に向けて
ひきこもり支援連絡会議	8月24日（水）	NPO 法人越谷らるご	○各団体・機関の取組の状況について
重層的支援体制整備事業関係者意見交換会	3月23日（木）	中央市民会館	○令和4年度の実施結果 ○実施結果から見えてきたこと ○令和5年度の取組み

#### イ 行政との会議等

期 日	会 場	内 容
4月15日（金）	宅建会館	○重層的支援体制整備事業 実施方法について ○実施マニュアルについて ○実施に係る様式・実績報告の様式について ○越谷市重層的支援体制整備事業支援会議設置要綱について
4月28日（木）	宅建会館	○どこにも当てはまらないようなケースについて ○実施マニュアルの内容について
6月30日（木）	市役所	○重層的体制整備事業の詳細について
9月27日（火）	市役所	○第1回重層的支援会議・支援会議振り返り
11月30日（水）	宅建会館	○第2回重層的支援会議・支援会議振り返り
3月6日（月）	市役所	○第3回重層的支援会議・支援会議振り返り

## (6) 子育てサロン事業（市受託事業）

子育てに不安や負担を感じている親への支援を目的に、悩みや不安の相談や子育て情報の共有ができる交流の場を提供しました。親同士の交流を図るとともに、年齢や誕生日など、テーマ別に集う子育てひろばの開催、利用者の拡大に向けた取組を進めました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策として、利用定員を半数にするほか、ひろば事業については、利用時間を短くし、開催回数を増やすことで、利用機会の確保に努めました。

### ① 子育てサロンの開催

〈会場別開催日数〉

(単位：日)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
ヴァリエ	307	280	174	249	308	123.7
水辺のまちづくり館	46	47	27	39	51	130.8
児童館コスモス	152	139	82	125	147	117.6
児童館ヒマワリ	140	123	76	118	142	120.3
合 計	645	589	359	531	648	122.0

※ 水辺のまちづくり館での子育てひろばは、平成29年度(2017年度)から市受託事業として開催(平成28年度(2016年度)までは社協事業「子育て支援事業」として報告)

〈会場別利用人数〉

(単位：人)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
ヴァリエ	7,603	6,933	2,899	4,192	5,723	136.5
水辺のまちづくり館	3,383	3,421	1,135	1,780	2,478	139.2
児童館コスモス	14,820	11,889	4,585	6,882	8,571	124.5
児童館ヒマワリ	13,209	11,458	3,904	6,044	8,728	144.4
合 計	39,015	33,701	12,523	18,898	25,500	134.9

### ② 講座等の開催

#### ア 子育てひろば・赤ちゃんひろば

就学前のお子さんを育てている方を対象に、ヴァリエ、水辺のまちづくり館、児童館コスモス・ヒマワリで子育てひろばを開催、0歳の赤ちゃんと保護者を対象にヴァリエ・水辺のまちづくり館では赤ちゃんひろばを開催しました。

子育ての楽しさを共有できる友達を作りたいという親子同士をサポートし、交流の輪を広げました。

#### イ 父親サロン

子育てサロンヴァリエでは、0・1・2歳児と父親を対象とした父親サロンを開催しました。子育てに関わる機会・情報の提供や親子のふれあい遊び、簡単工作、読み聞かせなどを行いました。

ウ 子育てひろば（テーマ別）

子育てサロンヴァリエでは、年齢や転入者、誕生日など、多様なテーマごとに集う子育てひろば（テーマ別）を開催しました。

スタッフを交えて共通の話題で情報交換や交流を図りました。

エ 子育て講座

子育て支援団体を講師として招き、ベビーマッサージやリズム遊びなど、各種講座を開催しました。

オ パーソナルトークタイム

事前予約制で、未就学のお子さんを育てている方を対象として、育児の悩みなどをスタッフと話ができるパーソナルトークタイムを開催しました。

〈講座等開催回数及び参加人数〉

内 容	回 数 (回)	参加人数 (人)	大 人 (人)	子 ども (人)
子育てひろば	682	20,242	9,877	10,365
赤ちゃんひろば	436	3,363	1,698	1,665
父親サロン	48	188	94	94
テーマ別	79	588	293	295
パーソナルトークタイム	57	128	71	57
子育て講座	79	991	485	506
合計	1,381	25,500	12,518	12,982

③ 相談対応

〈会場別相談件数〉

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
ヴァリエ	11,819	11,533	7,301	10,686	11,965	112.0
水辺のまちづくり館	1,656	1,973	997	1,545	1,556	100.7
児童館コスモス	152	100	84	116	182	156.9
児童館ヒマワリ	309	305	194	66	143	216.7
合 計	13,936	13,911	8,576	12,413	13,846	111.5

〈内容別相談件数〉

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)	
子どもに関する事	生活習慣	2,407	2,411	1,423	1,962	2,078	105.9
	発育・発達	3,038	3,058	1,956	2,646	2,913	110.1
	生活環境	1,521	1,346	942	1,316	1,394	105.9
	社会環境	2,042	2,031	1,172	1,497	1,693	113.1
	小 計	9,008	8,846	5,493	7,421	8,078	108.9
親自身に関する事	家庭環境	1,692	1,706	1,067	1,726	1,919	111.2
	地域環境	686	633	376	591	713	120.6
	性 格	106	110	72	139	164	118.0
	仕 事	927	1,019	488	878	1,050	119.6
	ストレス	266	330	243	281	343	122.1
	子どもへの接し方	601	606	349	586	713	121.7

	その他	650	649	488	791	866	109.5
	小計	4,928	5,053	3,083	4,992	5,768	115.5
	合計	13,936	13,899	8,576	12,413	13,846	111.5

(7) 「ふらっと」がもうの運営（市・商工会議所受託事業）

蒲生駅前商店街内の空き店舗を活用し、商店会の活性化と、地域の困りごとを地域で支える仕組みづくり事業（越谷市地域支え合いサービス事業）と高齢者の居場所づくり事業（越谷市助け合いの仕組み事業）を平成23年（2011年）10月1日より、越谷市商工会（現：越谷商工会議所）と越谷市から受託し運営しました。

また、「ふらっと」がもうが地域で身近に活用でき、理解が得られるよう、近隣の商店街店主や自治会長、民生委員・児童委員、ボランティア等と連携しながら事業のPRを行いました。

① 越谷市地域支え合いサービス事業 サポートスタッフ派遣

高齢者や育児中の方のちょっとした困りごと（掃除、買い物代行、草むしり等）を地域で登録しているスタッフが手伝いました。また、サポートスタッフは謝礼として商品券を受け取り、地域の商店会（加盟店）での買い物をし、商店会の活性化にもつながりました。

〈地域支え合いサービス実施推移〉

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
サポートスタッフ登録者数(人)	31	29	27	26	25	96.1
新規サポートスタッフ登録者数(人)	1	0	2	3	1	33.3
利用会員登録者(人)	196	214	218	226	234	103.5
新規利用会員登録者数(人)	16	18	4	8	8	100.0
利用券販売枚数(枚)	253	286	142	140	150	107.1
支え合い活動数(回)	253	286	142	140	150	107.1

② 越谷市地域支え合いサービス事業 サポートスタッフ研修会

○期日 令和4年（2022年）9月27日（火）

○会場 蒲生交流館 小会議室

○内容 新型コロナウイルス感染症の発症か現在までの対応について  
地域支え合いサービス事業について

○参加者 8人

③ 越谷市地域支え合いサービス事業 地場産品・こしがやブランド認定品販売  
地場産新鮮野菜やこめ油などのブランド認定品のPR・販売を行いました。

○販売金額 2,091,970円

④ 越谷市助け合いの仕組みづくり事業 高齢者の居場所づくり

高齢者や障がいをお持ちの方を中心に、1日平均30人程度が訪れ、来場者同士お茶を飲みながら会話を楽しみました。

〈高齢者の居場所づくり利用推移〉

区 分		平成30年度	平成元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
開館日数(日)		308	272	174	307	296	96.4
利用者数(人)		9,914	9,999	5,196	9,504	8,964	94.3
1日平均利用者数(人)		32.2	36.8	29.9	31.0	30.2	97.4
講座・ イベント	回数	23	21	0	8	21	262.5
	参加者数(人)	493	458	0	49	191	389.8
オレンジ カフェ	回数	—	—	4	7	11	157.1
	参加人数(人)	—	—	34	43	86	200.0

※ 空調故障のため、令和元年(2019年)8月8日から8月16日まで臨時休館

※ 令和2年度(2020年度)の講座・イベントは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

※ 令和2年(2020年)9月より、越谷市地域包括ケア課が主催するオレンジカフェを開催

※ 空調故障のため、令和4年(2022年)8月24日から9月5日まで臨時休館

(8) 「ふらっと」おおぶくろの運営(市受託事業)

大袋駅前商店街内の空き店舗を活用し、商店会の活性化と高齢者の居場所づくり事業(越谷市助け合いの仕組み事業)を実施しました。

運営に当たり、事業の理解や利用促進を図るため、近隣の商店街店主や自治会長、民生委員・児童委員、ボランティア等と連携し、事業のPRを行いました。

① 越谷市助け合いの仕組みづくり事業 高齢者の居場所づくり

高齢者を中心に、1日平均30人程度が訪れ、来場者同士の交流を促しました。

〈高齢者の居場所づくり利用推移〉

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
開館日数(日)		307	281	178	310	308	99.4
利用者数(人)		15,424	14,481	3,697	6,573	9,101	138.5
1日平均利用者数(人)		50.2	51.5	20.8	21.2	29.5	139.2
講座・ イベント	回数	37	39	0	23	55	239.1
	参加者数(人)	1,461	1,499	0	311	1,081	347.6
オレンジ カフェ	回数	—	—	4	7	12	171.4
	参加人数(人)	—	—	64	130	272	209.2

※ 令和2年度(2020年度)の講座・イベントは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

※ 令和2年(2020年)9月より、越谷市地域包括ケア課が主催するオレンジカフェを開催

## (9) 介護支援ボランティア制度事業（市受託事業）

越谷市助け合いの仕組みづくり事業の一環として、高齢者の健康増進や介護予防とともに社会参加活動を促進することを目的に実施しました。この事業は、特別養護老人ホーム等で行ったボランティア活動に対して、ポイントを給付し、年間のポイント数に応じて5,000円を上限とした交付金を交付するものです。

なお、令和4年度は、「ふらっと」おおぶくろ、「ふらっと」がもうにおいて、活動に初めて参加する方に対するボランティア手帳の申請手続きを行い、利便性の向上を図りました。

〈介護支援ボランティアの推移〉

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
登録人数(人)	261	262	201	86	104	120.9
受入施設数(か所)	102	106	104	12	17	141.7

## (10) ボランティアセンター運営事業

### ① ボランティアセンター運営委員会

#### ア 第1回運営委員会

○期 日 令和4年(2022年)7月8日(金)

○会 場 中央市民会館4階会議室

○内 容 令和3年度事業報告について  
令和4年度事業計画について

○出席者 10人

#### イ 第2回運営委員会

○期 日 令和5年(2023年)2月22日(水)

○会 場 中央市民会館5階会議室

○内 容 令和4年度の主な事業の取り組みについて  
令和5年度事業計画(案)について

○出席者 10人

### ② ボランティアセンターの運営

#### ア ボランティア登録

ボランティア活動の積極的な推進のため、相談受付後、活動希望者の登録をすすめています。

〈ボランティア登録状況〉

(単位:人)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
活動希望者数	235	129	68	113	131	115.9
新規登録者数	74	50	19	5	29	580.0
活動者数 (登録者数)	2,045 (1,460)	1,741 (1,446)	1,187 (1,407)	843 (1,275)	884 (1,182)	104.9 (92.7)

※ 活動者数…複数のグループで活動している延べ活動者数

イ ボランティア依頼への対応（連絡調整）

施設や学校、個人等からのボランティア依頼に対し、調整・依頼を行いました。

なお、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、施設等でのボランティアの受入れが困難のため、前年度同様減少しています。

〈ボランティア依頼対応件数〉

（単位：件）

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
依頼(対応)数	387	283	8	10	40	400.0

ウ ボランティア保険

ボランティア活動中のケガや事故に備え、全国社会福祉協議会「ボランティア活動保険」「ボランティア行事保険」「福祉サービス総合保障」「送迎サービス保障」の取扱いを行いました。

・全国社会福祉協議会ボランティア活動保険等取扱い件数 1,730件

エ ボランティア相談

中央市民会館2階ボランティア相談コーナー及びボランティアセンターでは、ボランティア相談員や担当職員が個人、団体、学校、福祉施設等からのあらゆる相談に対応しました。

○相談日 月～土曜日（10時～16時）

○開設日数 267日

○相談件数 2,192件（月平均183件）

オ ボランティア情報提供

中央市民会館2階ボランティア活動室入口に掲示板を設置し、情報提供を図りました。

〈ボランティア相談件数〉

（単位：件）

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
相談件数	2,864	2,867	1,644	1,704	2,192	128.6

〈ボランティア相談状況〉

相談総数 2,192件

区 分	内 容	件・人数	割合(%)
年 代	70歳代	664	30.3
	60歳代	414	18.9
	50歳代	281	12.8
	40歳代	263	12.0
	不明	169	7.7
	80歳代以上	134	6.1
	10歳代	119	5.4
	30歳代	76	3.5
	20歳代	69	3.2
	10歳未満	3	0.1
相談内容	ボランティア活動保険加入	1,774	80.9
	活動がしたい	131	6.0
	登録廃止	61	2.8
	情報が欲しい	46	2.1
	寄付したい	44	2.0
	Vが欲しい	40	1.8
	新規登録	29	1.3
	その他（寄付してほしい、活動上の問題等）	67	3.1

相 談 者	Vグループ	956	43.7
	個人	597	27.2
	団体	318	14.5
	社協	160	7.3
	行政関係	55	2.5
	学校関係	42	1.9
	施設関係	35	1.6
	企業	15	0.7
	医療関係	8	0.4
	その他	6	0.2
受付方法	来訪	1,979	90.3
	電話	165	7.5
	その他（移送等）	48	2.2
曜 日	水曜日	632	28.9
	火曜日	388	17.7
	木曜日	381	17.4
	金曜日	354	16.1
	月曜日	338	15.4
	土曜日	99	4.5

※ 上記の表については、区分ごとに集計件数の多い順に記載しています。

### ③ 災害ボランティアセンター

災害時に市と連携して住民の被災状況を考慮し、災害ボランティアによる支援が必要であると認められる場合に、迅速に災害ボランティアセンターを設置できるよう平時から準備をしました。

また、災害ボランティアセンターの役割を説明し、広くPRしていくことを目的に、防災訓練に参加し、地域住民に対する災害ボランティアセンターのPRに努めました。

#### ア 災害時における協力体制の協定

大規模災害発生後に災害ボランティアセンターを設置・運営する際に、当協議会だけでなく、被災者等の支援に向けて迅速かつ効果的に災害支援活動が行えるよう、越谷青年会議所と「災害時における協力体制に関する協定」を締結しました。

○期 日 令和4年(2022年)10月4日(火)

○団体名 越谷青年会議所

#### イ 各地区防災訓練への参加

	名称	期日	会場	参加職員数
1	越谷市・越ヶ谷地区総合防災訓練	1月29日(日)	越谷市役所・中央市民会館周辺	5人
2	南越谷地区防災訓練	3月12日(日)	越谷市立南越谷小学校	4人
3	川柳地区防災訓練※雨天中止	3月26日(日)	越谷市立明正小学校	—

### ④ 災害ボランティア登録制度

災害ボランティアとして活動する意欲のある個人又は団体を対象として、登録希望者の登録事務を行いました。

〈登録者数〉

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
個 人 (人)	104	99	106	113	59	52.2
団 体 (件)	4	4	5	5	6	120.0

ア 災害ボランティア登録者研修

越谷市災害ボランティア登録者および登録団体に対して、大規模災害が発生した際に迅速な対応と支援ができるよう、当協議会職員と合同で、災害ボランティアセンター立ち上げ・運営訓練を行いました。

○期 日 令和5年(2023年)1月22日(日)

○会 場 中央市民会館4階会議室

○内 容 災害ボランティアセンターの説明、立ち上げ・運営訓練  
講義「災害ボランティアセンターの役割、求められること」など

○講 師 オフィス園崎 代表 園崎 秀治 氏

○参加者 86人(登録者21人、2団体3人、職員55人、その他7人)

(11) ボランティア体験学習事業

① ジュニアボランティアスクール

小学生を対象に福祉教育の一環として各プログラムを行い、幅広い視野を養うとともにハンディキャップのある方達を正しく理解し、ノーマライゼーションの理念に基づく福祉の心を育成することを目的として開催しました。

なお、令和4年度(2022年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、会場や内容、対象者を考慮し募集人数を制限して、対面形式で開催しました。

《低学年 小学1～3年生》

ア 期 日 令和4年(2022年)7月27日(水)、28日(木)

イ 会 場 中央市民会館会議室、障害者福祉センターこぼと館

ウ 内 容 7月27日(水) こぼと館の利用者と交流しよう  
28日(木) 手話でコミュニケーション

エ 講 師 越谷市ボランティア連絡会 手話すみれグループ

オ 参加者 28人

《高学年 小学4～6年生》

ア 期 日 令和4年(2022年)7月27日(水)、8月3日(水)

イ 会 場 中央市民会館会議室、障害者福祉センターこぼと館

ウ 内 容 7月27日(水) 点字を学んでみよう  
8月 3日(水) こぼと館の利用者と交流しよう

エ 講 師 越谷市ボランティア連絡会 点字はなみずきグループ

オ 参加者 9人

② 青少年ボランティアスクール

青少年を対象に身近な福祉活動について知り、体験することで地域への理解と

関心を高めるとともに、課題解決につなげていく行動力を培うことを目的として毎年開催しています。

なお、令和4年度(2022年度)は、多数の申し込みがありましたが、受入れ施設等の協力もあり、募集人数を増員し体験活動を行うことができました。

ア 期 日 活動日：令和4年(2022年)7月23日(土)～8月21日(日)

※上記の期間内において参加者の希望日

振り返り・修了証授与：8月23日(火)

イ 会 場 高齢者関係 2か所

障がい者関係 2か所

子ども関係 8か所

合 計 12か所

ウ 内 容 7月23日(土)～8月21日(日)

各福祉施設でのボランティア体験活動

8月23日(火)活動の振り返り(体験報告、ミニ講座)

修了証授与

エ 参加者 27人

(中学生15人、高校生9人、短大・大学生2人、その他1人)

### ③ 福祉教育活動研修

福祉体験学習を実施する小・中学校教職員を対象に福祉教育における専門的な知識を深めることを目的として、毎年研修会を開催しています。

なお、令和4年度(2022年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、5月に開催を予定していた事業の実施を中止しました。

### ④ 福祉体験学習支援

福祉教育の一環として、福祉体験学習を実施する学校や地域(自治会、民生委員等)などに対し、当事者(視覚・聴覚・車椅子等)やボランティアグループの派遣、福祉機器の貸し出しなどについて支援しました。

### ⑤ ボランティア専門講座

福祉の現状や課題について学ぶことを通して、ボランティアとしての資質の向上を図り、ボランティア活動の活性化と継続、その後のボランティア活動の広がりへとつなげていくことを目的として毎年開催しています。

令和4年度(2022年度)は、ボランティア体験学習事業、福祉推進員事業、生活支援体制整備事業との共同開催として、スマートフォンの使い方を地域の方に教えるボランティアを養成する「スマートフォンマイスター養成講座」を実施しました。修了者にはボランティア登録を行っていただき、地域で開催されるスマホ相談会などに協力いただいています。

ア 期 日 令和4年(2022年)9月30日(金)

イ 会 場 中央市民会館13～15会議室

ウ 内 容 基礎講座：言葉の選び方、調べるポイントや注意点、確認方法など  
応用講座：電子マネーの種類や特徴、個人情報の取扱いなど

エ 参加者 42人

## ⑥ ボランティア入門講座

ボランティア活動に関心のある方や関心はあるがまだ活動していない方を対象に、ボランティア活動に必要な知識を学び、ボランティア活動への理解を深め、活動に結びつけるきっかけづくりとして、相談窓口にて随時説明等を実施しました。

## ⑦ 福祉教育

### ア 福祉体験学習（学校分）

福祉教育推進の成果として、小学校14件（児童1,391人、教職員44人）、中学校3件（生徒390人、教職員11人）が視覚障がい体験・車いす体験・手話体験・拡大写本等を実施し、その活動について支援しました。

〈実施状況〉

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
小学校数(件)	42	41	23	5	14	280.0
児童数(人)	3,930	3,930	1,997	646	1,391	215.3
P T A数(人)	11	96	0	0	0	—
教職員数(人)	125	104	57	19	44	231.6
中学校数(件)	22	16	8	1	3	300.0
生徒数(人)	1,714	726	904	128	390	304.7
P T A数(人)	0	0	0	0	0	—
教職員数(人)	51	22	23	4	11	275.0
高等学校数(件)	3	2	0	0	0	—
生徒数(人)	181	126	0	0	0	—
教職員数(人)	6	4	0	0	0	—
その他団体(件)	12	9	0	0	3	—
参加数(人)	309	155	0	0	42	—
学校総数(件)	67	59	31	6	17	283.3
参加者総数(人)	6,327	5,163	2,981	797	1,878	235.6

〈体験学習内容〉

(単位：件)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
聴 覚 障がい	小学校	8	9	5	0	6	—
	中学校	1	4	2	0	2	—
	高等学校	1	0	0	0	0	—
	小 計	10	13	7	0	8	—
視 覚 障がい	小学校	14	12	7	2	3	150.0
	中学校	6	3	2	1	1	100.0
	高等学校	0	1	0	0	0	—
	小 計	20	16	9	3	4	133.3
点 字	小学校	4	7	0	0	0	—
	中学校	3	1	0	0	0	—
	高等学校	1	0	0	0	0	—
	小 計	8	8	0	0	0	—

車いす	小学校	10	8	8	2	4	200.0
	中学校	6	3	2	0	0	—
	高等学校	1	1	0	0	0	—
	小計	17	12	10	2	4	200.0
拡大 写本	小学校	1	1	1	0	1	—
	中学校	1	1	0	0	0	—
	高等学校	0	0	0	0	0	—
	小計	2	2	1	0	1	—
朗読	小学校	0	0	0	0	0	—
	中学校	0	1	0	0	0	—
	高等学校	0	0	0	0	0	—
	小計	0	1	0	0	0	—
高齢者 疑似	小学校	3	1	2	1	0	0.0
	中学校	3	2	1	0	0	—
	高等学校	0	0	0	0	0	—
	小計	6	0	3	1	0	0.0
認知症 サポーター 養成講座	小学校	2	3	0	0	0	—
	中学校	2	1	1	0	0	—
	高等学校	0	0	0	0	0	—
	小計	4	4	1	0	0	—
合計		67	59	31	6	17	283.3

イ 福祉体験学習（その他）

団体・イベント名等	期日	会場	体験内容
大沢地区センター 子ども福祉体験講座	8月20日（土）	大沢地区センター	点字講習
大沢地区センター 子ども福祉体験講座	8月20日（土）	大沢地区センター	手話講習
関東運輸支局 産業フェスタ バリアフリー教室	11月26日（土）	総合体育館広場	車椅子講習

### 3 共同募金配分事業

#### (1) 社協支部活動支援事業

13支部に対し、地域の実状にあった福祉活動及び福祉コミュニティの推進が図れるよう、福祉事業補助金として、1,919,334円を交付しました。

#### (2) ふれあい福祉センター事業

##### ① 総合福祉相談

地域における福祉課題及び生活課題に広く応じ、適切な支援と、必要に応じて専門機関、福祉サービス等に繋げ、福祉の充実を図ることを目的とし、行政、関係機関・団体等と連携し実施しました。

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
総合福祉相談	33	26	7	5	51	1020.0

##### ② 専門相談

###### ア ボランティア相談

○相談日 月～土曜日(10時～16時)

○場 所 中央市民会館2階ボランティア相談コーナー

○相談員 ボランティア活動実践者

※ ボランティア相談の詳細は、P28、29参照

###### イ 貸付相談

福祉資金や生活福祉資金などの貸付けを通しての相談を行いました。

〈貸付相談の推移〉

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
生活福祉資金	977	1,292	577	264	320	121.2
福祉資金	792	970	281	212	229	108.0
その他	34	59	20	30	39	130.0

#### (3) 広域交流ボランティア活動助成事業

昭和54年2月から「一人暮らし高齢者会食サービス」を実施してきましたが、近年の社会情勢の変化に対応するため、令和4年度から新たに単身者を含む高齢者世帯、障がいのある方や子育て中の親などに対象者を拡大するとともに、参加者同士の交流などを目的とした広域の「居場所」の提供を行うボランティアグループに対し、活動費を助成しました。

また、ボランティアグループが主体的に、地域の実情に合わせた柔軟な活動ができるよう支援しました。

ア 会場数 14か所

- イ ボランティア数(人) 173人
- ウ 参加者数(人) 2,251人(延べ人数)
- エ 助成金額 675,950円

② シルバーカレッジ (共催)

生涯学習の一環として、高齢者が社会環境の変化に対応する能力と心身の健康を培い、社会参加と生きがいを創造することを目的として、8月24日(水)から11月2日(水)までの全6回のコースで、越谷市中央市民会館・埼玉県立大学・文教大学で開催しました。

- ア 受講者数 83人
- イ 共催団体 越谷市、埼玉県立大学、文教大学、越谷市老人クラブ連合会

③ 敬老会 (共催)

多年にわたって社会に貢献してきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、すべての人々が老後への理解を深め、健康で生きがいのある社会が築かれるよう「越谷市敬老会」を毎年開催しています。

なお、令和4年度(2022年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、9月に開催を予定していた事業の実施が中止となりました。

(4) 障がい児・者福祉活動事業

① 障害者の日記念事業「ふれあいの日」(共催)

「心豊かな福祉のまちづくり」をテーマに障がい者と健常者が交流し、理解を深める場として、実行委員会を組織し、ふれあいの日を毎年開催しています。

- ア 主催 第42回ふれあいの日実行委員会
- イ 期日 令和4年(2022年)6月26日(日)
- ウ 会場 レイクタウン mori
- エ 内容 団体発表、団体活動展示等

② 福祉車両貸出し

市内在住で歩行困難な方に、車いすに乗ったまま乗降可能な介護車両(軽自動車ワゴン1台)を貸し出しました。

〈貸出状況〉

(単位：件)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
ミニバン	117	87	2	—	—	—
軽ワゴン	135	124	23	33	71	215.1

※ ミニバンは経年劣化により、令和2年6月末で廃車

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年度4月中旬から6月末まで貸出し中止

### ③ 車椅子貸出し

市内在住で車いすを必要とする方に車いすを貸出しすることにより、介護負担の軽減等を図りました。

また、引き続き老人福祉センター4館において貸出しをすることにより、利用者の利便性向上に努めました。

〈貸出状況〉

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
所有台数	73	75	70	71	70	98.6
貸出件数	375	368	259	484	473	97.7

## (5) ボランティア活動育成事業

### ① ボランティア活動基盤整備

#### ア 音訳ボランティア

視覚に障がいのある方に「広報こしがや」「社協だより」「議会だより」等を朗読してCDに録音し郵送している、音訳ボランティアグループ「声のおたより」の活動に対し、活動場所の提供等の支援をしました。

#### イ 拡大写本ボランティア

盲学校や小・中学校等からの依頼で、弱視児のための教科書や児童書等の拡大写本づくりをしている拡大写本グループの活動に対し、製本作業の効率化のために消耗品を提供し活動を支援しました。

#### ウ 友愛通信ボランティア

市内在住で70歳以上の一人暮らし高齢者にお便りを送っている友愛通信グループに、ハガキを提供し活動を支援しました。

○活動者数 51人

○送付枚数 777枚

### ② ボランティア情報提供

#### ア ボランティア情報「ピュア」による情報提供

ボランティア活動の啓発及び情報提供としてボランティア情報「ピュア」を社協だよりに掲載し、年6回市内全戸に配布しました。

#### イ メール配信サービス

ボランティアに関する情報をより広くPRするため、電子メールを活用した配信サービスを開始し、よりタイムリーな情報提供を行いました。

○配信回数 12回

○配信先 登録者230人、市内施設123件

### ③ ボランティア交流会（共催）

ボランティア連絡会と共催で、ボランティアセンター登録者のほか、様々な分野で活躍しているボランティア同士の交流の場、PRの場を設定することにより

活動の活性化を図ると共に、助け合い、支え合えるボランティアの輪を広げ、連携することで活動の相乗効果を生み出し、様々な地域課題にも取り組めることを目的に開催しています。

なお、令和4年度(2022年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、12月に開催を予定していた事業の実施を、ボランティア連絡会単独事業として開催しました。

## (6) 低所得者福祉対策事業

### ○緊急援護

不測の事態により、緊急に援護を必要とする人に対し、鉄道乗車券（東武鉄道越谷～浅草区間、越谷～久喜区間、JR 南越谷～新宿区間、南越谷～松戸区間）や食料品（アルファ米、備蓄用パン）の現物支給による援護を行いました。

〈利用状況〉

（単位：件）

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
※鉄道乗車券	8	7	11	5	6	120.0
現物支給	6	5	10	31	44	141.9

※ 令和4年(2022年)9月30日をもって回数券が発売中止となっているため、緊急援護については、現物支給のみ対応

## (7) 情報提供・啓発事業

### ① こしがや社協だより

越谷市社会福祉協議会の広報紙として、事業の紹介や募集など各種福祉情報をタブロイド版全8ページで年6回、各号115,000部発行し、全戸配布しました。

発行号	主な内容
第241号（5月1日発行）	成年後見制度講演会、事業計画、予算
第242号（7月1日発行）	ジュニアボランティアスクール、市民後見人養成研修
第243号（9月1日発行）	しらこぼとマルシェ、事業報告、決算
第244号（11月1日発行）	こころのアート展、歳末たすけあい募金
第245号（1月1日発行）	ほほえみサービス、スマートフォンマイスター養成講座
第246号（3月1日発行）	生活支援体制整備事業

### ② 越谷市社協ホームページ

事業の紹介や募集など各種福祉情報の広報啓発に努めました。より見やすいホームページと敏速な情報提供を目指しました。

## (8) 地域福祉活動協力団体支援事業

地域福祉事業に積極的かつ恒常的に協力しながら地域福祉活動等を実施している団体に補助金を交付しました。

ア 助成団体数	2 団体	
イ 助成金額	1,623,000 円	
	(内訳) 越谷市ボランティア連絡会	993,000 円
	越谷市民生委員・児童委員協議会	630,000 円

## (9) 歳末たすけあい配分事業

援助や支援を必要とする人たちが、地域で新たな年を迎える時期にあたり、物心両面の援護活動を進めるため、市民から寄せられた歳末たすけあい募金の配分事業を推進しました。

### ① 歳末たすけあい検討委員会

#### ア 第1回委員会

- 期 日 令和4年(2022年)9月6日(火)
- 会 場 中央市民会館5階会議室
- 内 容 令和3年度(2021年度)歳末たすけあい配分事業について  
令和4年度(2022年度)歳末たすけあい配分事業(案)について
- 出席者 7人

#### イ 第2回委員会

- 期 日 令和4年(2022年)12月9日(金)
- 会 場 中央市民会館5階会議室
- 内 容 令和4年度(2022年度)歳末たすけあい配分事業について  
令和5年度(2023年度)歳末たすけあい配分事業(案)について
- 出席者 9人

### ② 配分内容

#### ア 歳末援護金の配分

民生委員・児童委員の協力により、低所得世帯に対し、歳末援護金を配分し、金銭的な支援を行いました。

- ・世帯数 335世帯(644人)
- ・配分総額 12,925,000円

#### イ 民生委員・児童委員の協力により、低所得世帯の子ども(未就学児、小学生、中学生、高校生、専門学校生、大学生)に対し、図書カードを配付し、子育て支援、学習支援を行いました。

- ・配付人数 220人
- ・助成総額 1,517,000円

#### ウ ランドセルの配付

民生委員・児童委員の協力により、低所得世帯で令和5年度小学校新入学児童に対し、ランドセルを配付し、子育て支援、学習支援を行いました。

- ・配付人数 8人
- ・助成総額 310,000円

エ 小地域福祉活動歳末特定事業への援助

○ふれあいサロン

ふれあいサロンで年末年始に行う歳末特定事業に対し、事業費の助成を行いました。

- ・団体数 67団体
- ・助成総額 1,083,272円

オ 広報等経費

歳末たすけあい運動を広く市民に理解いただく広報活動を展開するため、600,510円を活用しました。

## 4 生活支援総合推進事業

### (1) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

埼玉県社会福祉協議会が実施主体となり行っている、自立更生支援のための貸付制度（生活福祉資金）についての相談・申請の受付を行いました。

本制度は、低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支えるとともに、自立支援及び社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。

行政やハローワーク等関係機関との連携を図りながら、総合的な相談に応じ、世帯の自立に向けた援助を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により減収となった世帯に対し、令和2年(2020年)3月から特例貸付の申請を受け付けました。

〈生活福祉資金等貸付の推移〉

(単位：円)

区 分		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
福祉資金	福祉費	生業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		技能習得	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		福祉資金	6	6,587,000	9	4,360,000	2	346,000	2	287,000	3	319,000
		療養・介護資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	緊急小口資金	5	500,000	10	902,000	6	600,000	1	80,000	11	942,000	
教育支援資金	教育支援費	2	920,000	1	555,000	2	1,132,000	1	136,000	1	720,000	
	就学支度費	1	118,000	1	233,000	2	886,000	0	0	0	0	
	教育・就学支度費	5	5,907,000	5	2,470,000	3	3,068,000	10	7,430,000	6	3,590,000	
不動産担保型生活支援資金		3	20,902,000	4	30,740,000	1	7,350,000	0	0	1	7,630,000	
総合支援資金	生活支援費	0	0	0	0	2	444,000	0	0	0	0	
	住宅入居費	0	0	0	0	2	431,000	0	0	0	0	
	一時再建費	0	0	0	0	2	342,000	0	0	0	0	
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0	1	99,000	0	0	0	0	
特例貸付※	緊急小口資金	-	-	14	2,600,000	2,454	471,660,000	1,143	221,325,000	284	54,430,000	
	総合支援資金	-	-	0	0	1,920	1,019,642,000	1,327	696,600,000	315	152,550,000	
	総合支援資金(延長)	-	-	-	-	828	451,950,000	397	221,700,000	-	-	
	総合支援資金(再貸付)	-	-	-	-	254	135,760,000	2,091	1,094,440,000	-	-	
合 計		22	34,934,000	44	41,860,000	5,479	2,093,710,000	4,972	2,241,998,000	621	220,181,000	

※ 令和2年(2020年)3月25日から受付開始

## (2) 福祉資金貸付事業

経済的理由により、一時的な生活困窮世帯に対し、生活の安定及び自立が図れるよう福祉資金の貸付を行いました。

なお、滞納世帯に対しては、滞納金額の督促を行い、現在の世帯における生活実態を把握し、自立に向けた相談に応じました。

### ○福祉資金運営委員会

#### ア 第1回運営委員会

- 期 日 令和4年(2022年)7月11日(月)
- 会 場 中央市民会館5階会議室
- 内 容 福祉資金現況報告について  
令和3年度(2021年度)福祉資金貸付状況報告について  
令和3年度(2021年度)滞納者に対する取組みについて  
令和3年度(2021年度)福祉資金貸付欠損報告について

○出席者 9人

#### イ 第2回運営委員会

- 期 日 令和4年(2022年)11月21日(月)
- 会 場 中央市民会館5階会議室
- 内 容 福祉資金現況報告について  
令和4年度(2022年度)上期福祉資金貸付状況報告について  
令和4年度(2022年度)上期滞納者に対する取組みについて  
令和4年度(2022年度)福祉資金貸付欠損報告について  
令和5年度(2023年度)福祉資金貸付事業について

○出席者 10人

〈貸付内容〉

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
貸付件数(件)	232	236	143	142	177	124.6
貸付金額(円)	5,895,500	5,364,000	3,242,500	3,386,000	3,070,500	90.7

※ 貸付限度額…5万円以内・無利子

## (3) 石川奨学福祉基金奨学資金給与事業

奨学基金から生じる利子を、市内在住の母子世帯等の経済的な理由により修学が困難な生徒に対し、奨学資金として33人に合計1,980,000円を給与しました。また、事業のPRを図るため、市内の中学校及び高等学校(公立・私立)へ事業の案内を行いました。

### ① 石川奨学福祉基金運営委員会

#### ア 第1回運営委員会

- 期 日 令和4年(2022年)4月28日(木)
- 会 場 中央市民会館4階会議室

- 内 容 令和3年度奨学金給与状況について  
令和4年度奨学生の選定について
- 出席者 6人
- イ 第2回運営委員会
- 期 日 令和4年(2022年)10月31日(月)
- ※出席者が委員総数の過半数に満たなかったため、書面審議
- 内 容 令和4年度奨学金給与状況について  
令和5年度奨学生の募集について

## ② 資産運用

〈債券〉

(単位:円)

	銘柄	利率	償還日	額面	利息額	単年度利息額
1	第126回利付国債(20年)	2.0	2031.3.20	1億円	2,000,000円	200万円
				減価償却	0円	—
	合計	—	—	1億円	2,000,000円	

令和5年(2023年)3月31日現在

〈預貯金〉

(単位:円)

	預け入れ先	預貯金	種類	令和4年度利息額
1	埼玉りそな銀行越谷支店	7,117,071	決済用預金	0
	合計	7,117,071		0

令和5年(2023年)3月31日現在

## ③ 石川奨学福祉基金給与証書交付式

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止としました。

## (4) 福祉サービス利用援助事業(県社協受託事業)

高齢や知的障がい、精神障がいなどの理由で必要な福祉サービスを自身の判断で適切に選択、利用することが難しい方を対象に福祉サービス利用援助や日常的金銭管理などの援助を行いました。また、利用者の多様なニーズに対応できるよう、生活支援員及び専門員の資質の向上を図るとともに、行政、地域包括支援センター等関係機関と連携を図り、利用者の生活課題の解決に取り組みました。

成年後見制度の利用が必要な利用者については、成年後見制度へスムーズに移行ができるよう、成年後見センター事業と連携を図りました。

## ① 事業実施状況

### 〈相談受付状況〉

区 分		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	対前年度比(%)
初回 相談 件数 (件)	高 齢 者	78	105	53	40	42	105.0
	知的障がい者	3	10	5	14	1	7.1
	精神障がい者	20	43	25	11	19	173.0
	そ の 他	91	16	7	4	0	—
	計	192	174	90	69	62	89.9
相談 件数 (件)	高 齢 者	141	163	68	138	137	99.3
	知的障がい者	5	11	11	20	20	100.0
	精神障がい者	49	63	37	37	40	108.1
	そ の 他	99	17	7	1	14	1400.0
	計	294	254	123	196	211	107.7

### 〈令和 4 年度契約状況〉

(単位：件)

区 分	前年度 (継続)	新規	解約	年度末契約件数
高 齢 者	25	6	11	20
知的障がい者	2	0	1	1
精神障がい者	13	2	3	12
そ の 他	0	0	0	0
計	40	8	15	33

### 〈契約者数推移〉

(単位：件)

区 分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	対前年度比(%)
高 齢 者	47	38	27	25	20	80.0
知的障がい者	4	1	1	2	1	50.0
精神障がい者	17	12	13	13	12	92.3
そ の 他	0	0	0	0	0	0
計	68	51	41	40	33	82.5

※ 変更契約を除く

### 〈利用者内訳〉

#### ① 日常的金銭管理の支援方法

区 分	件数 (件)
同 行	18
代 行	1
代 理	10
金銭管理なし	4
計	33

#### ② 収入状況

区 分	件数 (件)
生活保護	18
年 金 等	15
計	33

#### ③ 世帯構成

区 分	件数 (件)
一人暮らし	28
同 居	5
計	33

※ 同行 本人と一緒に金融機関へ行く方法

代行 書類の作成は本人が行い、手続きのみ代行する方法

代理 社会福祉協議会が代理人として手続きを行う方法

〈生活支援員活動状況〉

(単位：回)

区 分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	対前年度比(%)
高 齢 者	821	630	404	328	313	95.4
知的障がい者	60	72	12	18	12	66.7
精神障がい者	304	232	188	205	155	75.6
そ の 他	0	0	0	0	0	—
計	1,185	934	604	551	480	87.1

② 越谷市社協が主催した会議・研修

ア 生活支援員研修

- 期 日 令和 4 年(2022年) 1 1 月 1 6 日 (水)
- 会 場 中央市民会館 1 階 こぼと館
- 内 容 事例検討、情報交換 ほか
- 参加者 1 0 人

## 5 愛の詩基金事業

### (1) 愛の詩基金運営委員会

#### ○運営委員会

##### ア 第1回

- 期 日 令和5年(2023年)1月24日(火)
- 会 場 中央市民会館5階会議室
- 内 容 越谷市ウクライナ避難民福祉支援金支給事業について  
令和4年度の寄附金及び基金運用について  
果実事業の進捗状況と令和5年度の事業計画・予算(案)について

### (2) 積立事業

昭和59年(1984年)7月に創設した「愛の詩基金」の増強を、愛の詩基金設置要綱に基づき積極的に推進しました。

市民や行政の理解により基金の累計額は、平成4年(1992年)7月に5億円を突破し、その後、平成8年(1996年)12月には10億円、令和元年(2019年)6月には17億円に到達しました。現在、目標額を20億円に設定し、寄付の受付、基金の運用を行っています。

基金の管理運用にあたっては、資金管理方針に基づき、安全性と有益性を求め、国債、政府保証債等の債券により運用しました。

#### ① 寄付金実績

〈令和4年度寄付金実績〉

区 分	件数(件)	金額(円)
団体寄付金	31	1,435,158
個人寄付金	26	1,960,992
基金箱寄付金	11	95,848
合 計	68	3,451,998

〈愛の詩基金累計〉

(単位:円)

年 度	寄 付 金 等 ①	利 息 等 ②	小 計 ③ (①+②)	果実事業使用額 ④	合 計 ⑤ (③-④)
平成29年度	2,650,526	30,150,875	32,801,401	10,948,805	21,852,596
平成30年度	2,850,908	30,150,875	33,001,783	16,332,285	16,669,498
令和元年度	2,823,896	30,295,204	33,119,100	17,212,963	15,906,137
令和2年度	2,100,038	30,788,873	32,888,911	13,264,421	19,624,490
令和3年度	24,476,945	30,788,873	55,265,818	13,176,690	42,089,128
令和4年度	3,451,998	30,788,873	34,240,871	15,307,705	18,933,166
合 計	1,321,982,973	713,015,484	2,034,998,457	241,056,614	1,793,941,843

## ② 資産運用

〈預貯金〉

(単位:円)

	預け入れ先	利率	預貯金	種類	利息額
1	埼玉りそな銀行越谷支店	—	111,078,888	決済用預金	0
合 計			111,078,888		0

令和5年(2023年)3月31日現在

〈債券〉

	銘 柄	利率	償 還 日	額 面	令和4年度利息額	単年度利息額
1	第93回 利付国債(20年)	2.000	2027. 3. 20	2億円	4,000,000円	400.0万円
2	第114回 利付国債(20年)	2.100	2029. 12. 20	2億円	4,200,000円	420.0万円
3	第119回 利付国債(20年)	1.800	2030. 6. 20	1億円	1,800,000円	180.0万円
4	第121回 利付国債(20年)	1.900	2030. 9. 20	3億円	5,700,000円	570.0万円
5	第124回 利付国債(20年)	2.000	2030. 12. 20	2億円	4,000,000円	400.0万円
6	第83回日本高速道路保有・債務返済機構債券(20年)	1.900	2032. 3. 19	2億円	3,800,000円	380.0万円
7	第13回 東京都公募債(30年)	1.930	2042. 3. 19	2億円	3,860,000円	386.0万円
8	第1回地方公共団体金融機構債券(30年)	1.864	2044. 6. 28	1億円	1,864,000円	186.4万円
9	第170回日本高速道路保有・債務返済機構債券(40年)	0.698	2055. 3. 19	1億円	698,000円	69.8万円
10	第34回東京都住宅供給公社債券(30年)	0.643	2049. 6. 18	1億円	643,000円	64.3万円
				減価償却	223,873円	
合 計		平均 1.798	平均残存年限 12.87年	17億円	30,788,873円	3,056.5万円

令和5年(2023年)3月31日現在

## (3) 果実事業

愛の詩基金運営要綱第4条の規定に基づき、地域福祉推進を目的に、次の事業に11,812,345円の果実(利息)を活用しました。

### ① 紙おむつ等配付事業

市内在住の紙おむつ等を必要とする①②③の方に、希望の紙おむつや尿取りパッド等を自宅まで配送することにより、本人及び家族の経済的・精神的負担の軽減に努めました。

ア 対象者

- ① 在宅で介護保険の要介護1～5の認定を受け、世帯全員が市・県民税非課税世帯の方
- ② 在宅で身体障害者手帳(1級又は2級の方に限る)もしくは療育手帳(㊤又はAの方に限る)の交付を受け、世帯全員が市・県民税非課税世帯の方
- ③ 在宅で2歳未満の子どもを養育し、世帯全員が市・県民税非課税世帯の方

イ 助成金額 11,615,920円(事務経費含む)

〈延配付者数〉

(単位：人)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
介護保険	要介護5	180	194	171	148	163	110.1
	要介護4	248	255	237	281	315	112.1
	要介護3	296	351	297	276	299	108.3
	要介護2	428	531	484	459	505	110.0
	要介護1	347	445	478	577	627	108.7
身体障害者 手帳	1 級	44	32	26	42	49	116.7
	2 級	25	20	12	13	16	123.1
療育手帳	㊤	10	7	12	10	14	140.0
	A	6	2	2	4	0	0
2歳未満		16	19	20	11	14	127.3
合 計		1,603	1,857	1,732	1,821	2,002	109.9

## ② 社会福祉活動団体等支援事業

地域福祉の推進に関する事業を実施する社会福祉活動団体等に対し、助成金を交付しました。

- ・助成団体数 3 団体
- ・助成金額 479,000 円

〈助成内訳〉

	団体名	事業名	助成金額 (円)
1	越谷市生涯学習推進会	「ヤングケアラー～家族をケアする子どもたち～」講演会	79,000
2	越谷子どもみらいプロジェクト	蒲生ハロウィンフェスティバル	200,000
3	特定非営利活動法人 くおーれの風	「あれから半世紀」講演会とシンポジウム	200,000
合 計			479,000

ア 助成金審査委員会 (委員定数10人)

### ① 第1回

- 期 日 令和4年(2022年)5月17日(火)
- 会 場 越谷市中央市民会館5階会議室
- 内 容 令和3年度助成金交付団体の報告について  
令和4年度助成金申請状況及び審査について

### ② 第2回

- 期 日 令和5年(2023年)2月9日(木)
- 会 場 越谷市中央市民会館5階会議室
- 内 容 令和4年度助成金交付団体の報告について  
令和5年度助成金について

### ③ 子育て支援事業

#### ア ふれあいひろば

子育ての悩みや楽しさを共有できる友だちを作りたいという親子同士をサポートし、交流の輪を広げることを目的として、0歳の赤ちゃんを育てている方を対象に、「ふらっと」おおぶくろでふれあいひろばを開催しています。

なお、令和4年度(2022年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、8月から事業を実施しました。

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
「ふらっと」 おおぶくろ	開催回数	51	37	0	0	16	—
	大人 (人)	424	338	0	0	54	—
	子ども (人)	419	342	0	0	53	—
	合計 (人)	843	680	0	0	107	—
イオン せんげん台店	開催回数	—	11	0	—	—	—
	大人 (人)	—	94	0	—	—	—
	子ども (人)	—	97	0	—	—	—
	合計 (人)	—	191	0	—	—	—

※ イオンせんげん台店でのふれあいひろばは、令和3年度(2021年度)より廃止

#### イ 子育てサロン職員派遣

ふれあいサロン(子育て分野)に登録しているサロンからの依頼を受け、職員を派遣し、季節にまつわるレクリエーション等を実施し、活動支援を行っています。令和4年度(2022年度)は、依頼がありませんでした。

### ④ ファミリー・サポート・センター事業利用料助成事業

こしがやファミリー・サポート・センター事業の利用登録をしている対象世帯に利用料助成を行いました。

#### ア 対象者 越谷市内の利用会員のうち、次のいずれかの世帯

○生活保護受給世帯

○世帯全員の市・県民税が非課税世帯

○児童扶養手当の支給対象世帯または、ひとり親家庭等の医療費の支給対象世帯

#### イ 助成額 1か月の利用料の1/2を助成(1か月の助成限度額は2万円)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
登録件数 (件)	12	13	14	19	12	63.2
助成金額 (円)	252,760	437,869	361,200	414,290	249,300	60.2

### ⑤ 火災見舞金給付

火災による被害を受けた被災者等に、1世帯につき10,000円を見舞金として給付しました。

〈給付状況〉

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
給付件数	8	3	5	14	12	85.7

## ⑥ ふれあいサロン助成事業

ふれあいサロン事業を積極的に支援するため、運営費の一部助成を行いました。

〈助成状況〉

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
助成サロン数 (件)	106	119	60	65	85	130.8
助成金額 (円)	2,784,270	2,950,200	794,830	968,700	2,076,640	214.4

## ⑦ 福祉サービス利用援助事業利用料助成事業

福祉サービス利用援助事業を利用する低所得世帯に対し、利用料を助成し、利用者の負担を軽減するとともに新規利用者が安心して利用できる環境を整備しました。

〈助成状況〉 利用料金の9割を助成

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
助成件数 (件)	20	17	11	10	6	60.0
助成金額 (円)	415,800	390,960	188,640	174,240	92,160	52.9

## ⑧ 災害支援事業

ウクライナからの避難民を受け入れる親族に対して、受け入れる避難民1人につき100,000円を福祉支援金として支給しました。

- ・支給件数 1件
- ・支給金額 100,000円

## 6 在宅福祉総合推進事業

### (1) 障害者ガイドヘルパー派遣事業（市受託事業）

市内に居住する視覚障害1・2級及び下肢・体幹障害1・2級で車いすでなければ移動できない障がい者のうち、介護者がいない方に対し、登録しているガイドヘルパーを派遣しました。

公的機関や医療機関などへの外出が困難な時に、ガイドヘルパーを派遣することにより社会生活圏を拡大し、障がい者福祉の増進を図りました。

〈派遣状況〉

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
ガイドヘルパー数 (人)	38	35	35	34	26	76.5
派遣申請登録者数 (人)	98	103	105	106	98	92.5
派遣時間 (時間)	3009	2709	1977	2272	2150	94.6
障害状況別派遣回数 (回)	837	736	535	660	609	92.3
視 覚	736	837	535	660	609	92.3
下肢・体幹	0	0	0	0	0	—

### (2) 在宅支援家事サービス事業「ほほえみサービス」

越谷市在住で高齢や病気・けが・産前産後などで日常生活に支障のある世帯等に家事支援サービスを有料で行いました。また、地域や家庭で安心して生活できるよう関係機関との連携を図り、掃除、調理、洗濯等のほか、話し相手、布団干し、草取り等のニーズの対応に努めました。

また、平成29年(2017年)10月から「越谷市介護予防・日常生活支援総合事業住民主体サービス(訪問型サービスB)」の団体として、越谷市に登録し、引き続きサービスを提供しました。

〈実施状況〉

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
ほほえみスタッフ数 (人)	83	90	58	67	67	100.0
	62	69	43	38	41	107.9
利用申請登録者数 (人)	75	75	79	55	68	123.6
	7	8	17	8	9	112.5
利用時間 (時間)	3,220	3,032	1,830	2,313	1551	67.1
	69	187	211	277	168	60.6
利用回数 (回)	2,067	2,032	1,348	1,762	1,095	62.1
	69	171	178	257	125	48.6

※ 上段はほほえみサービス全体の実施状況、下段はほほえみサービス全体のうちサービスBの実施状況となります。

※ 平成30年度(2018年度)、令和2年度(2020年度)にほほえみスタッフ登録者の活動意向を確認し、登録名簿の整理を行いました。

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和2年4月中旬から6月末まで活動を中止しました。

### (3) 在宅認知症高齢者等支援事業

「喜左衛門」は、制度の狭間におかれて援助を必要とする方々や要介護及び要支援状態にある高齢者を対象に、その有する能力に応じ自立した生活を営むことができるよう、利用者の立場に立ったサービスを提供しました。

#### ① サービス内容

- お住まいと同様の家庭的な雰囲気の中での日帰り預かりサービス
- スタッフが手作りで料理する温かい食事サービス
- 家の中まで送り届ける送迎サービス
- 入浴介助により一人ずつ入浴する入浴サービス

#### ② 利用日及び利用時間

- ア 利用日 月曜日～土曜日
- イ 休日 日曜日及び年末年始
- ウ 時間 午前9時15分～午後4時15分

#### ③ 利用料金

- 基本料金 1日 1,500円
- 送迎代 片道 250円
- 食費 1食 700円 (おやつ代含む)
- 入浴 1回 500円
- レクリエーション費 月額 500円

〈延べ利用者数〉

(単位：人)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
利用	13	18	6	0	1	—

## 7 介護事業

### (1) 介護保険事業

#### ① 介護支援事業

指定居宅介護支援事業所「こしがや社協」では、4人の介護支援専門員（ケアマネジャー）が、要介護状態にある利用者の心身の特性を踏まえて、その能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、これに基づきサービスの実施状況の把握（モニタリング）等日常生活全般に対する介護支援を行いました。

また、越谷市等から昨年度に引き続き「要介護認定調査」を受託し、14件の認定訪問調査を実施しました。

なお、令和4年度(2022年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、大人数での実施となるサービス担当者会議について、感染状況により照会にて開催するなど、弾力的に実施しました。

介護支援専門員（ケアマネジャー）の資質の向上にあたっては、定期的（毎週1回）に会議を行い事例検討や業務改善のための勉強会を事業所内研修として実施し、また他機関が実施する研修会に積極的に参加しました。

また、引き続き、主任介護支援専門員を配置し、支援困難ケースの対応など「モデル的」な事業所を評価する観点から設けられた特定事業所加算Ⅱの要件を満たし、質の高いケアマネジメントの提供及び安定的な経営に努めました。

〈利用者数及び請求額等（当初請求時）〉

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
延利用者数(人)	1,625	1,561	1,511	1,474	1,624	110.2
要介護度別延利用者数(人)						
要介護1	566	565	526	566	594	104.9
要介護2	447	436	428	423	449	106.1
要介護3	356	310	264	209	221	105.7
要介護4	159	175	181	199	213	107.0
要介護5	97	75	112	77	147	190.9
請求総額(円)	26,910,138	25,746,954	24,996,889	24,714,798	27,225,713	110.2
延スタッフ数(人)	48	48	48	48	48	100.0

〈要介護度別利用者の構成比率〉

(単位：%)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
要介護1	34.8	36.2	34.8	38.4	36.6
要介護2	27.5	27.9	28.3	28.7	27.6
要介護3	21.9	19.9	17.5	14.2	13.6
要介護4	9.8	11.2	12.0	13.5	13.1
要介護5	6.0	4.8	7.4	5.2	9.1

〈要介護認定調査委託業務の実績〉

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
件 数 (件)	52	58	6	14	43	307.1
委託料・手数 (円)	224,640	252,100	26,400	61,600	189,200	307.1

② 訪問介護事業

指定居宅サービス事業所「こしがや社協」では、介護保険法に基づく訪問介護員（ホームヘルパー）が、在宅の要介護状態にある利用者の心身の特性を踏まえて、その能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、身体介護（入浴・排泄・食事・通院等の介助）と生活援助（掃除・洗濯・買物・調理等）の訪問介護サービスを提供しました。また、越谷市介護予防・日常生活支援総合事業として、要支援状態にある高齢者等に対し、自力では困難な行為等について、訪問介護サービスを提供しました。

ヘルパーの資質の向上にあたっては、サービス提供責任者会議やヘルパー全体会議等を定期的（月1回以上）に行い、事例検討やケアカンファレンス等業務改善のための勉強会を事業所内研修として実施するとともに、他機関が実施する研修会にも参加し、サービス提供の向上に努めました。

なお、コロナ禍での介護サービスの提供が途切れないよう、感染防止対策を講じながらサービスの継続に努めました。

令和4年度(2022年度)も引き続き、ヘルパーの質の確保や活動環境の整備、中重度者への対応を行う優良事業所を評価する観点から設けられた、特定事業所加算Ⅰの要件を満たし、質の高いサービスの提供及び安定的な経営に努めました。また、介護職員処遇改善加算および介護職員等ベースアップ等支援加算の届出を行い、引き続き介護職員の賃金改善を行いました。

〈利用者数及び請求額等（当初請求時）〉

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)	
延べ利用者数 (人)	680	586	533	486	633	130.2	
要介護度別延べ利用者数 (人)							
介護 (人)	要介護1	218	207	195	183	245	133.9
	要介護2	143	132	99	102	118	115.7
	要介護3	108	77	75	54	75	138.9
	要介護4	64	42	24	30	50	166.7
	要介護5	71	61	58	37	31	83.8
総合 (人)	要支援1	39	30	28	46	85	184.8
	要支援2	37	37	54	34	29	85.3
介護請求額 (円)	37,416,699	31,073,974	26,958,205	21,864,327	28,692,812	131.2	
総合請求額 (円)	1,347,595	1,283,414	1,362,617	1,344,398	1,868,275	139.0	
請求総額 (円)	38,764,294	32,357,388	28,320,822	23,208,725	30,561,087	131.7	
延べスタッフ数 (人)	491	443	450	475	457	96.2	

〈要介護度別利用者の構成比率〉

(単位：%)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
介護	要介護1	32.1	35.3	36.6	37.6	38.8
	要介護2	21.0	22.5	18.6	21.0	18.6
	要介護3	15.9	13.2	14.1	11.1	11.8
	要介護4	9.4	7.2	4.5	6.2	7.9
	要介護5	10.5	10.4	10.9	7.6	4.9
総合	要支援1	5.7	5.1	5.2	9.5	13.4
	要支援2	5.4	6.3	10.1	7.0	4.6

〈提供延べ回数・時間（当初請求時）〉

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
介護	提供延回数（回）	8,502	6,902	5,834	4,809	6,883	143.1
	提供延時間（時間）	8,803.1	7,274.3	6,354.8	4960.4	6536.6	131.8
総合	提供延回数（回）	425	381	411	433	558	128.9
	提供延時間（時間）	446.5	382.5	441	433	553	127.7
内容(時)	身体介護	4,618.8	3,969.6	3,487.2	2831	3437.8	121.4
	生活援助	4,184.3	3,304.7	2,867.6	2129.4	3098.8	145.5

③ 通所介護事業

指定地域密着型通所介護事業所「喜左衛門」は、要介護状態にある高齢者に対し、適正な介護サービスを提供しました。また、越谷市介護予防・日常生活支援総合事業として、要支援状態にある高齢者等に対し、生活の質の向上に資するサービスを提供しました。

なお、コロナ禍での介護サービスの提供が途切れないよう、感染防止対策を講じながらサービスの継続に努めました。

また、介護職員等ベースアップ等支援加算の届出を行い、介護職員の賃金改善を行いました。

〈通所介護事業（喜左衛門 要介護度別延べ利用者数及び請求額）〉

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
延べ利用者数（人）		275	302	223	267	243	91.0
要介護度別延べ利用者数（人）							
介護（人）	要介護1	96	111	62	63	62	98.4
	要介護2	47	52	50	74	61	82.4
	要介護3	38	78	46	42	42	100.0
	要介護4	22	18	21	30	24	80.0
	要介護5	12	0	8	22	14	63.6
総合（人）	要支援1	18	8	0	0	5	—
	要支援2	42	35	36	36	35	97.2
介護請求額（円）		22,181,005	24,286,954	17,082,025	21,530,767	18,542,334	86.1

総合請求額（円）	2,276,102	1,728,455	1,590,507	1,631,930	1,704,675	104.5
請求総額（円）	24,457,107	26,015,409	18,672,532	23,162,697	20,247,009	87.4
延べスタッフ数（人）	194	182	180	168	175	104.2

〈要介護度別利用者の構成比率〉

（単位：％）

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
介護	要介護1	34.9	36.8	27.8	23.6	25.5
	要介護2	17.1	17.2	22.4	27.7	25.1
	要介護3	13.8	25.8	20.6	15.8	17.3
	要介護4	8.0	6.0	9.4	11.2	9.9
	要介護5	4.4	—	3.6	8.2	5.8
総合	要支援1	6.5	2.6	0	—	2.0
	要支援2	15.3	11.6	16.2	13.5	14.4

## ア 運営推進会議の開催

利用者、利用者の家族、地域住民の代表者等に対し、提供しているサービス内容等を明らかにすることにより、地域に開かれたサービスとすることで、サービスの質の確保を図ることを目的としています。

なお、令和4年度(2022年度)は、9月中旬と3月中旬に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止としました。

## (2) 障害者総合支援事業

### ○居宅介護事業・重度訪問介護・同行援護

指定居宅介護事業所「こしがや社協」では、平成25年(2013年)4月から施行された障害者総合支援法に基づき、在宅の障がい児者に対し、居宅において日常生活を営むことができるよう、ホームヘルパーが身体介護（入浴・排泄・食事・通院等の介助）、家事援助（掃除・洗濯・買物・調理等）の居宅サービスを提供しました。また、重度の肢体不自由で常時介護が必要な方に対し、在宅で行われる入浴・排泄・食事の介護等と、外出時の移動中の介護を総合的に提供しました。さらに、重度の視覚障がい者に対しては移動時の情報提供に加え、目的地等での代読・代筆等の支援を行いました。

令和4年度(2022年度)も引き続き、ヘルパーの質の確保や活動環境の整備等を行っている優良事業所を評価する観点から設けられた、特定事業所加算Ⅱの要件を満たし、質の高いサービスの提供及び安定的な経営に努めました。また、福祉・介護職員処遇改善加算および福祉・介護職員等ベースアップ等支援加算の届出を行い、引き続き介護職員の賃金改善を行いました。

〈提供延べ利用者数・時間及び請求額（当初請求時）〉

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
居宅介護	延べ利用者数(人)	729	659	654	683	617	90.3
	提供時間(時間)	14,420	13,163	11,834	11,311	10,317	91.2

重度訪問 介 護	延べ利用者数 (人)	18	18	13	14	13	92.9
	提供時間 (時間)	372	353	299	292	216	74.0
同行援護	延べ利用者数 (人)	264	259	235	223	209	93.7
	提供時間 (時間)	3,051	2,900	2,431	2,292	2,516	109.8
合 計	延べ利用者数 (人)	1,011	936	902	920	839	91.2
	提供時間 (時間)	17,843	16,416	14,564	13,895	13,049	93.9
請 求 総 額 (円)		71,445,864	66,969,150	59,699,621	58,130,020	58,173,916	100.1

### (3) 地域生活支援事業

#### ○移動支援事業

指定居宅介護事業所「こしがや社協」では、平成25年(2013年)4月から施行された障害者総合支援法の中の、市町村の創意工夫により、利用者の方々の状況に応じて、柔軟に実施できる「地域生活支援事業」として、社会生活上必要不可欠及び、余暇活動等の社会参加のための移動を支援しました。

〈提供延べ利用者数・時間及び請求額 (当初請求時)〉

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
身体介護 を伴う	延べ利用者数 (人)	75	50	63	77	72	93.5
	提供時間 (時間)	526.5	260	314	523.5	434.5	83.0
身体介護を 伴わない	延べ利用者数 (人)	23	16	7	0	0	—
	提供時間 (時間)	235	133	47.5	0	0	—
合 計	延べ利用者数 (人)	98	66	70	77	72	93.5
	提供時間 (時間)	761.5	393	361.5	523.5	434.5	83.0
請 求 総 額 (円)		2,246,248	1,244,574	1,190,472	1,663,878	1,340,150	80.5

### (4) 在宅自立支援訪問介護事業

日常生活を営む上で支障がある方やその方を支えるご家族に対して、住み慣れた地域や家庭でその人らしい生活を安心して継続できるように支援し、ご利用者の尊厳の保持と自立支援の促進を図ることを目的に訪問介護サービスを提供しました。

〈提供延べ利用者数・時間及び請求額 (当初請求時)〉

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
延べ利用者数(人)	64	35	28	21	18	85.7
提供時間(時間)	679.5	194	155	76.5	71	92.8
請求総額(円)	1,325,554	408,540	316,735	133,862	123,850	92.5

## 8 老人福祉センター事業（指定管理事業）

老人福祉センターけやき荘・くすのき荘・ゆりのき荘・ひのき荘は、各種相談事業や共同事業体であるシンコースポーツ株式会社が有する専門的な見地を生かした健康増進関連事業をはじめ、娯楽や趣味、教養を高める学習機会や場所の提供を行い、高齢者の方々がいきいきと自立した生活を送ることができるよう支援しました。

令和4年度(2022年度)における4センターの総利用者数は209,391人で、1日平均696人にご利用いただきました。また、新規利用者として659人に使用者証を発行しました。

老人福祉センターを拠点に活動しているクラブ数は、4センターで118クラブ、会員数は1,724人となっており、クラブ活動の充実が図られています。

### (1) 管理運営

指定管理者（平成18年(2006年)4月～）として、各老人福祉センターを利用する方々が安全で快適にご利用して頂くために、毎月4センターによる調整会議を開催して、施設運営にあたっての課題等を検討・協議し、万全の体制で施設の管理・運営に努めました。

#### <けやき荘>

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
開館日数(日)	292	263	169	293	293	100.0
総利用者数(人)	77,867	66,200	25,158	45,834	44,335	96.7
区分利用	クラブ利用(人)	—	—	2,321	2,294	98.8
	団体利用(人)	6,315	5,539	250	132	331.1
	個人利用(人)	71,552	60,661	24,908	43,381	95.9
1日平均利用者数(人)	266	252	149	156	151	96.8
総見学者数(人)	151	101	9	37	19	51.4
使用者証発行数(人)	136	122	28	56	117	208.9
クラブ数(クラブ)	28	27	27	25	24	96.0
クラブ会員数(人)	559	502	475	416	386	92.8

※ 令和3年度より、区分利用の集計方法が変更となりました。

#### <くすのき荘>

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
開館日数(日)	292	261	169	238	293	123.1
総利用者数(人)	88,845	75,857	30,883	45,299	52,932	116.9
区分利用	クラブ利用(人)	—	—	12,099	14,958	123.6
	団体利用(人)	16,773	14,194	4,653	380	167.4
	個人利用(人)	72,072	61,663	26,230	32,820	113.8
1日平均利用者数(人)	304	291	183	190	181	95.3

総見学者数(人)	360	292	167	48	48	100.0
使用者証発行数(人)	230	194	60	90	193	214.4
クラブ数(クラブ)	76	73	68	67	62	92.5
クラブ会員数(人)	1,315	1,248	1,080	1,001	907	90.6

※ 令和3年度より、区分利用の集計方法が変更となりました。

### <ゆりのき荘>

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)	
開館日数(日)	298	280	144	308	308	100.0	
総利用者数(人)	84,039	72,264	19,754	50,925	53,788	105.6	
区分利用	クラブ利用(人)	—	—	—	6,303	6,356	100.8
	団体利用(人)	5,965	5,164	939	48	0	—
	個人利用(人)	78,074	67,100	18,815	44,574	47,432	106.4
1日平均利用者数(人)	282	258	137	165	175	106.1	
総見学者数(人)	250	173	15	52	62	119.2	
使用者証発行数(人)	287	207	50	155	181	116.8	
クラブ数(クラブ)	31	31	29	28	26	92.9	
クラブ会員数(人)	531	518	471	395	345	87.3	

※ 令和3年度より、区分利用の集計方法が変更となりました。

### <ひのき荘>

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)	
開館日数(日)	308	280	174	304	308	101.3	
総利用者数(人)	85,934	81,039	29,382	43,000	58,336	135.7	
区分利用	クラブ利用(人)	—	—	—	1,703	1,761	103.4
	団体利用(人)	7,561	6,414	2,242	2,660	3,791	142.5
	個人利用(人)	78,373	74,625	27,140	38,637	52,784	136.6
1日平均利用者数(人)	279	289	169	141	189	134.0	
総見学者数(人)	108	105	21	38	33	86.8	
使用者証発行数(人)	198	180	47	86	168	195.3	
クラブ数(クラブ)	7	8	8	7	8	114.3	
クラブ会員数(人)	119	116	111	101	104	103.0	

※ 令和3年度より、区分利用の集計方法が変更となりました。

## (2) 運営事業

### ① 各種相談事業

高齢社会が抱える、高齢者の生活や健康の不安等の諸問題に対して、相談を行い、高齢者が心身ともに健康で安心した日々を過ごすことができるよう、実施しました。

<けやき荘>

(単位:件)

事業名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
生活・健康相談	6,864	5,486	3,116	5,116	5,122	100.1
リハビリなんでも相談	17	9	2	9	13	144.4

<くすのき荘>

(単位:件)

事業名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
生活・健康相談	3,322	3,725	1,869	2,462	2,634	107.0
リハビリなんでも相談	11	9	4	7	17	242.9

<ゆりのき荘>

(単位:件)

事業名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
生活・健康相談	4,874	4,576	1,503	3,528	3,586	101.6
リハビリなんでも相談	40	40	7	38	37	97.4

<ひのき荘>

(単位:件)

事業名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
生活・健康相談	4,358	3,835	1,802	2,663	2,745	103.1
リハビリなんでも相談	17	9	3	8	18	225.0

② 健康増進に関する指導

高齢者の健康に対する意識を高め、健康維持と増進、予防を図るため、専門職による健康に関する講座を実施しました。

<けやき荘>

○健康管理・啓発事業

(単位:人)

期日	事業名	参加者数
2月(全4回)	リハビリ専門職による健康教室	延べ 105

○体力保持・増進事業

ア 各種事業・教室

(単位:人)

期日	事業名	参加者数
8月～9月(全5回)	簡単筋トレ教室	延べ 164
10月～11月(全3回)	初心者ウォーキング講習会	延べ 57
11月～12月(全5回)	ストレス解消!けいらくピクス教室	延べ 76

イ ラウンドフィットネス

5種類のマシンとステップ台を使用し、筋力運動と有酸素運動を交互に行うサーキットトレーニングにより利用者の健康増進、介護予防に取り組みました。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
総利用者数(人)	—	—	779	—
1日平均利用者数(人)	—	—	8	—
初回講習会の総利用者数(人)	—	—	108	—

総利用料（円）	—	—	155,800	—
総開館日数（日）	—	—	95	—

※ 令和4年(2022年)12月から開始

### <くすのき荘>

○健康管理・啓発事業 (単位：人)

期 日	事 業 名	参加者数
8月29日	健康づくり講座（リハビリ専門職による健康教室）	17
12月19日	健康づくり講座（リハビリ専門職による健康教室）	10

○体力保持・増進事業 (単位：人)

期 日	事 業 名	参加者数
5月初旬～6月下旬 ※	いきいき元気スポーツ教室	—
6月上旬～6月下旬	体力づくり講習会（前期）	延べ 56
9月初旬～10月下旬 ※	いきいき元気スポーツ教室	—
10月中旬～11月上旬	介護予防体操教室	延べ 92
1月下旬～3月上旬	体力づくり講習会（後期）	延べ 63

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

### <ゆりのき荘>

○健康管理・啓発事業 (単位：人)

期 日	事 業 名	参加者数
5月～ 6月（全3回）	健康体操教室 Aコース	16
5月～ 6月（全3回）	健康体操教室 Bコース	15

○体力保持・増進事業 (単位：人)

期 日	事 業 名	参加者数
11月（全3回）	InBody 測定&運動教室（中級） Aコース	15
11月（全3回）	InBody 測定&運動教室（中級） Bコース	15
12月（全3回）	InBody 測定&運動教室（初級） Aコース	15
12月（全3回）	InBody 測定&運動教室（初級） Bコース	15

### <ひのき荘>

○健康管理・啓発事業 (単位：人)

期 日	事 業 名	参加者数
6月2日～9月22日（全10回）	健康教室（上期）	延べ 527
1月26日～3月23日（全10回）	健康教室（下期）	延べ 549

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

○体力保持・増進事業

ア 各種事業・教室 (単位：人)

期 日	事 業 名	参加者数
6月4日～8月6日（全10回）	第1期ひのきスッキリ運動	延べ 214
9月21日～10月26日（全6回）	健康「柔」体操（ロコモティブシンドローム予防）	延べ 102

10月1日～12月3日(全10回)	第2期ひのきスッキリ運動	延べ 194
11月21日～12月19日(全5回)	男の運動教室	延べ 81
1月21日～3月25日(全10回)	第3期ひのきスッキリ運動	延べ 208
7月下旬 ※	ひのき健康サロン(健康測定・軽運動等)	—
10月6日～20日(全3回) ※	いきいき元気スポーツ教室	—

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

イ ラウンドフィットネス

5種類のマシンとステップ台を使用し、筋力運動と有酸素運動を交互に行うサーキットトレーニングにより利用者の健康増進、介護予防に取り組みました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
総利用者数(人)	4,499	828	2,068	3,851	186.2
1日平均利用者数(人)	19.6	8.0	6.8	12.5	183.8
初回講習会の総利用者数(人)	399	34	68	107	157.4
総利用料(円)	899,800	165,600	413,600	770,200	186.2
総開館日数(日)	230	107	304	308	101.3

※ 令和元年(2019年)6月から開始

### ③ 生業及び就労に関する指導

関係機関と連携を図り、生業・就労に関する情報を提供できるよう、けやき荘・くすのき荘・ゆりのき荘・ひのき荘の4館合同で、生きがい就労に繋がるシルバー人材センターにおける高齢者の求人や現状及び活動の紹介の講習会を実施しました。

会場	期 日	事 業 名	参加者数(人)
けやき荘	2月 7日	シルバー人材センターにおける高齢者の求人や現状及び活動の紹介	20
くすのき荘	2月15日		8
ゆりのき荘	3月 8日		16
ひのき荘	2月17日		9

### ④ 機能回復訓練の実施

機能回復訓練室の各種機器を活用し、必要に応じて職員が指導する等、健康維持・増進に努めました。また、身体機能の維持・向上を図り高齢者の介護予防・自立支援を行うことを目的に、専門職(市保健センター理学療法士・作業療法士)による「リハビリなんでも相談」を実施しました。

### ⑤ 教養講座の実施

高齢者の教養を高め、学習、趣味を通じ多くの仲間とふれあい、地域社会に積極的に参加し、明るく張りのある自立した生活が送れるよう事業を実施しました。

<けやき荘>

(単位：人)

期 日	事 業 名	参加者数
5月19日	映画に親しもう～懐かしの映画鑑賞会～	21
6月 2日	映画に親しもう～懐かしの映画鑑賞会～	28
6月14日	終活セミナー ～エンディングへの備え～	37
6月18日	第1回消防訓練	14
6月18日	第1回水防訓練	11
7月25日～ 9月16日	前期けやきスクール	延べ 176
7月27日	防犯講座	40
7月27日	映画に親しもう～懐かしの映画鑑賞会～	40
8月17日	映画に親しもう～懐かしの映画鑑賞会～	36
10月13日	映画に親しもう～懐かしの映画鑑賞会～	36
10月(全3回)	キャンドル作り講習会	延べ 12
11月18日	第2回消防訓練	41
11月18日	第2回水防訓練	41
12月(全2回)	華やかなしめ縄作り講習会	延べ 12
12月21日	映画に親しもう～懐かしの映画鑑賞会～	22
1月26日～ 2月27日	後期けやきスクール	延べ 57
2月(全4回)	これから始めよう！初心者スマホ講座	延べ 71
2月22日	映画に親しもう～懐かしの映画鑑賞会～	32
3月23日	認知症サポーター養成講座	13

<くすのき荘>

(単位：人)

期 日	事 業 名	参加者数
4月26日	布ぞうり講習会	12
5月下旬・11月中旬 ※	健康音楽講座	—
5月下旬～7月上旬	前期くすのきスクール(2講座)	延べ 42
7月下旬 ※	料理講習会	—
9月11日	第1回消防訓練	8
10月19日	ふるさと歴史散策	8
11月16日	防犯講習会	17
11月初旬～12月中旬	中期くすのきスクール(2講座)	延べ 100
11月下旬～12月中旬 ※	パソコン講座(年賀状作り・カレンダー作り)	—
12月3日	法律講座(終活セミナー講習会)	23
12月9日	水防避難訓練	7
12月中旬 ※	年越しそば打ち講習会	—
12月9日	水防避難訓練	7
1月14日	人物歴史講座	21
1月中旬～ 3月中旬	後期くすのきスクール	延べ 127
1月下旬	認知症サポーター養成講座	12
1月下旬～ 2月中旬 ※	パソコン講座(インターネット)	—

1月31日	初心者向けスマホ教室	20
2月初旬 ※	リサイクル講座	—
3月4日	第2回消防訓練	5

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

### <ゆりのき荘>

(単位：人)

期 日	事 業 名	参加者数
5月24日	布ぞうり講習会 Aコース	10
5月28日	布ぞうり講習会 Bコース	8
6月20日	第1回消防訓練	29
6月24日	防犯講座	19
7月 1日～31日	俳句・川柳大募集	12
8月～ 9月	前期ゆりのきスクール	35
10月12日	第2回消防訓練	31
12月 4日	牛乳パックを使った小物作り教室	5
1月～ 2月	後期ゆりのきスクール	32
2月18日	終活セミナー	19
3月24日	認知症サポーター養成講座	10

### <ひのき荘>

(単位：人)

期 日	事 業 名	参加者数
6月21日	第1回消防訓練(避難経路・初期消火) ※職員・関係者のみで実施	12
6月 3日～ 7月28日	前期ひのきスクール	延べ 251
7月下旬 ※	第1回パン作り教室(A)	—
	第1回パン作り教室(B)	—
8月20日	布ぞうり作り講習会	9
9月21日～10月19日(全5回)	リメイク教室	0
10月中旬 ※	防犯講習会	—
10月3日～11月7日(全5回)	アクティブシニア応援講座	延べ 37
10月21日	ぶらり歴史散策	4
11月下旬 ※	第2回パン作り教室(A)	—
	第2回パン作り教室(B)	—
12月 6日	第2回消防訓練(避難経路・心肺蘇生訓練) ※職員・関係者のみで実施	13
12月 7日	お菓子作り教室(A)	5
12月14日	お菓子作り教室(B)	7
2月 2日～ 3月13日	後期ひのきスクール	延べ 240
2月下旬 ※	第3回パン作り教室(A)	—
	第3回パン作り教室(B)	—

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

## ⑥ 文化・スポーツ・レクリエーション事業の実施

高齢者の健康増進を図るとともに、スポーツ・レクリエーション等を通じて多くの仲間とふれあい、地域社会に積極的に参加し、明るく張りのある自立した生活が送れるよう事業を実施しました。

### <けやき荘>

(単位：人)

期 日	事 業 名	参加者数
5月12日 ※	カラオケでゾロ目にチャレンジ!	—
6月16日 ※	ウェルカム! けやき荘 みんなで歌おう♪	—
7月 7日 ※	カラオケでゾロ目にチャレンジ!	—
7月10日 ※	歌声ひろば～夏編～	—
9月 9日 ※	カラオケでゾロ目にチャレンジ!	—
9月15日 ※	ウェルカム! けやき荘 みんなで歌おう♪	—
9月18日	けやき寄席	40
11月10日	カラオケでゾロ目にチャレンジ!	25
12月 2日	囲碁・将棋大会	69
12月10日 ※	歌声ひろば～冬編～	—
1月12日	カラオケでゾロ目にチャレンジ!	28
2月 7日	カラオケでゾロ目にチャレンジ!	30
2月24日～25日 ※	けやき祭 (クラブ発表会)	—
3月10日	カラオケでゾロ目にチャレンジ!	30
3月25日 ※	ウェルカム! けやき荘 冬のコンサート♪	—

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

### <くすのき荘>

(単位：人)

期 日	事 業 名	参加者数
5月初旬 ※	ミニコンサート (ハワイアン演奏とフラダンス)	—
9月初旬 ※	ミニコンサート (ジャズコンサート)	—
10月下旬 ※	くすのき祭 (クラブ発表会)	—
12月初旬 ※	くすのき荘カラオケ大会	—
12月下旬 ※	ミニコンサート (吹奏楽演奏)	—
3月下旬 ※	ミニコンサート (消防音楽隊コンサート)	—

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

### <ゆりのき荘>

(単位：人)

期 日	事 業 名	参加者数
5月～ 2月 (年4回) ※	クラブ体験	—
6月～ 3月 (年4回) ※	ロビーコンサート	—
10月 ※	ゆりのき祭 (クラブ発表会)	—
10月 (全3回)	リズム体操教室 Aコース	15
10月 (全3回)	リズム体操教室 Bコース	16

2月～ 3月 (全3回)	トレッキング (山歩き) トレーニング Aコース	15
2月～ 3月 (全3回)	トレッキング (山歩き) トレーニング Bコース	15

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

### <ひのき荘>

(単位:人)

期 日	事 業 名	参加者数
4月～9月 ※	歌の広場ペルテ	—
10月 1日	歌の広場ペルテ	26
10月16日 ※	川柳地区文化祭	—
11月 5日	歌の広場ペルテ	18
12月10日	歌の広場ペルテ	40
2月 4日	歌の広場ペルテ	36
3月 4日	歌の広場ペルテ	40

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

#### ⑦ 老人クラブに対する援助等

けやき荘は、越谷市老人クラブ連合会の事務局として、越谷市と連携して、老人クラブの普及発展並びに相互の連絡協調を図り、高齢者の生きがいの創造と福祉の発展に資するため支援しました。

また、各単位クラブや、埼玉県老人クラブ連合会等の関係機関との連絡調整を図り、円滑な組織運営並びに活動の支援をしました。

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
クラブ数(クラブ)	93	91	90	85	75	88.2
会 員 数(人)	4,637	4,426	4,313	3,971	3,459	87.1
1クラブ平均会員数(人)	50	49	48	47	46	97.9
60歳以上の人口(人)	101,739	102,740	103,616	104,512	105,055	100.5
加 入 率(%)	4.6	4.3	4.2	3.8	3.3	86.8

※ 60歳以上の人口及び加入率については、各年度の4月1日現在

#### ⑧ その他

##### ア 利用者懇談会

各施設機能や環境が活かされた施設運営を更に充実させるため、施設の利用者と懇談会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、けやき荘、ゆりのき荘、ひのき荘は中止となりました。

	期日	内容
けやき荘	6月下旬	事業計画・管理運営について
くすのき荘	3月10日	令和4年度主催事業について 令和5年度事業計画について
ゆりのき荘	11月	運営事業について 管理運営について
ひのき荘	10月	管理運営について

## イ 老人福祉センター運営協議会

利用者である委員皆さまからのご意見やご提言を反映させた施設となるよう、老人福祉センターの管理運営について報告をするとともに、より良い施設に向けてご協議をいただきました。

回	期日	会場	内容
1	8月19日	中央市民会館5階 第4～6会議室	令和3年度管理運営について 令和3年度事業報告について 令和4年度事業計画について 令和3年度利用者の要望について 新型コロナウイルス感染症の感染拡大 防止対策と対応について

## ウ ふれあいデー

高齢者が、世代間の交流や、家族とのふれあいを通じて、健康で明るい社会生活を営むとともに、地域との交流を図り、高齢者福祉に対する市民の意識を高めることを目的に「ふれあいデー（一般開放日）」を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和4年9月より事業を縮小して行いました。

### <けやき荘>

(単位:人)

期 日	内 容	参加者数
4月～ 8月 第2第4土曜日 ※	テレビ映画上映、バンパー、卓球、オセロ、輪投げなど	—
9月第2第4土曜日	テレビ映画上映、バンパー、卓球、オセロ、輪投げなど	279
10月第2第4土曜日	テレビ映画上映、バンパー、卓球、オセロ、輪投げなど	299
11月第2第4土曜日	テレビ映画上映、バンパー、卓球、オセロ、輪投げなど	297
12月第2第4土曜日	テレビ映画上映、バンパー、卓球、オセロ、輪投げなど	312
1月第2第4土曜日	テレビ映画上映、バンパー、卓球、オセロ、輪投げなど	302
2月25日 土曜日	テレビ映画上映、バンパー、卓球、オセロ、輪投げなど	162
3月第2第4土曜日	テレビ映画上映、バンパー、卓球、オセロ、輪投げなど	180
合 計		1,831

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

### <くすのき荘>

(単位:人)

期 日	内 容	参加者数
4月～ 8月 第2第4日曜日 ※	映画上映、ビリヤード、卓球など	—
9月第2第4日曜日	映画上映、ビリヤード、卓球など	374
10月第2第4日曜日	映画上映、ビリヤード、卓球など	364
11月第2第4日曜日	映画上映、ビリヤード、卓球など	257
12月第2第4日曜日	映画上映、ビリヤード、卓球など	171
1月第2第4日曜日	映画上映、ビリヤード、卓球など	286

2月26日 日曜日	映画上映、ビリヤード、卓球など	191
3月第2第4日曜日	映画上映、ビリヤード、卓球など	315
合 計		1,958

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

<ゆりのき荘>

(単位:人)

期 日	内 容	参加者数
4月～ 8月 第3土曜日 ※	卓球、おり紙教室など	—
9月第3土曜日	卓球、おり紙教室など	183
10月第3土曜日	卓球、おり紙教室など	192
11月第3土曜日	卓球、おり紙教室など	222
12月第3土曜日	卓球、おり紙教室など	244
1月第3土曜日	卓球、おり紙教室など	179
2月第3土曜日	卓球、おり紙教室など	244
3月第3土曜日	卓球、おり紙教室など	186
合 計		1,450

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

<ひのき荘>

(単位:人)

期 日	内 容	参加者数
4月～8月 毎週日曜日 ※	卓球、おり紙教室	—
9月毎週日曜日	卓球、おり紙教室	616
10月毎週日曜日	卓球、おり紙教室、スマホお悩み相談会	807
11月毎週日曜日	卓球、おり紙教室	596
12月毎週日曜日	卓球、おり紙教室	630
1月毎週日曜日	卓球、おり紙教室	695
2月毎週日曜日	卓球、おり紙教室	688
3月毎週日曜日	卓球、おり紙教室、映画鑑賞会	710
合 計		4,742

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

## 9 障がい者支援事業

### (1) 障害者福祉センターこぼと館（指定管理事業）

越谷市障害者福祉センター「こぼと館」は、平成4年(1992年)4月に身体障害者福祉センター（B型）として設置され、同時に管理運営を受託しました。

平成15年度(2003年度)から支援費制度、平成18年(2006年)10月からは障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業の「経過的デイサービス事業」としてサービスを提供しました。

また、平成18年度(2006年度)からは指定管理施設として、在宅障がい者のデイサービス事業を中心に、障がい（者）に関する相談援助や各種講習会を実施するとともに、障がい者団体や障がい者支援ボランティア団体、グループに対しても活動の場や交流の機会を総合的に提供し、地域においてともに暮らせるまちづくりを進める事業に取り組みました。

令和4年度(2022年度)の開館日数は293日、1日平均の団体・個人の利用者は、43人となり、開所した平成4年度(1992年度)からの総利用者数は519,537人となりました。

#### ① 利用者数

(単位：人)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
開館日数(日)	291	287	290	291	293	100.7
団体利用者数 ( )は団体数	14,236 (853)	13,423 (814)	6,587 (672)	7,376 (765)	7,699 (973)	104.4 (127.2)
個人利用者数	6,796	5,628	3,417	3,910	4,759	121.7
総利用者数	21,083	19,112	10,054	11,353	12,482	109.9
1日平均利用者数	73	67	35	39	43	110.3
見学者数	51	61	50	67	24	35.8

#### ② 各室利用状況

(単位：人)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
社会適応訓練室	9,996	9,668	4,044	4,995	5,571	111.5
日常生活訓練室	5,908	4,880	2,895	2,659	3,147	118.4
作業室	2,484	2,550	1,244	1,316	1,218	92.6
相談室	982	904	589	656	639	97.4
団体室 3	1,168	1,026	1,139	1,511	1,683	111.4
*館外施設	545	84	143	216	224	103.7
合計	21,083	19,112	10,054	11,353	12,482	109.9

注.\*この区分は、こぼと館の施設以外で事業を行った際に適用

### ③ 各種事業

身体障害者福祉センター（B型）における事業として、障がい者の日常生活活動の向上を目的とした自立支援事業をはじめ、障がい者の社会参加を促進するための余暇支援事業などの各種事業を展開しました。

また、障がい者福祉ボランティアの育成として、手話奉仕員養成講習会（入門編、基礎編）を、コミュニケーション支援事業の担い手となる登録手話通訳者及び登録要約筆記者の育成として、登録手話通訳者をめざす講習会、手話通訳者養成講習会Ⅱ及び要約筆記者養成講習会をそれぞれ実施しました。

区分	事業名	期間	回数 (回)	定員 (人)	受講者数 (人)	延受講者数 (人)
支援者育成	手話奉仕員養成講習会入門編	4/ 5～ 8/16	18	35	21	403
	手話奉仕員養成講習会基礎編	9/13～ 3/14	23	30	20	399
	登録手話通訳者をめざす講習会	5/14～ 2/ 4	30	15	9	270
	手話通訳者養成講習会Ⅱ	5/14～ 3/18	40	15	8	393
	要約筆記者養成講習会	6/10～ 1/20	30	15	7	266
	障がい者福祉ボランティア講座	※体調不良等、辞退者が多かったため、中止となりました。				
自立支援	あいあい茶ろん	4/19～ 3/ 7	16	15	9	89
	生活リハビリ教室	4/15～ 3/24	28	10	6	114
	遊友	4/ 6～ 3/15	41	15	8	263
	日曜遊友	4/10～ 3/12	12	15	17	189
	青年クラブA ※	4/17～ 2/19	6	20	30	129
	青年クラブB ※	5/15～ 2/26	6	20	29	159
余暇支援	絵画教室（水曜コース）※	4/ 6～ 3/15	20	8	5	160
	絵画教室（木曜コース）※	4/14～ 3/23	20	8	7	186
	さをり織り教室（前期）※	4/15～ 9/ 2	10	5	4	50
	さをり織り教室（後期）	10/ 7～ 3/ 3	10	5	4	43
	コミュニティ音楽広場	8/28・12/11	2	15	*17	34
	夜間エンジョイ広場 ※	4/ 8～ 3/10	12	15	*11	132
	視覚障がい者エンジョイ教室※	4/28～12/22	5	10	*7	37
	館外研修	※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止となりました。				
その他	コミュニティ広場こぼと	4/ 3～ 3/26	12	15	*17	209
	スポーツ講習会 ※	4/21～ 3/16	10	15	*8	75
	こぼと館文化祭（作品展）	2/15～ 2/19	1	—	—	205
	あいの愛コンサート	3/5	1	—	—	224

注. \*印の数字は、毎回参加者が違うため総受講者の平均値を表記しました。

※ 8月18日、9月15日のスポーツ講習会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止となりました。

#### ④ 障がい者関係団体等の利用状況

〈障がい者団体〉

区分	登録団体名	利用回数(回)	延利用人数(人)	内 容
障がい者団体	越谷市身体障害者福祉会	—	—	役員会
	越谷市手をつなぐ育成会	—	—	会議
	越谷市視覚障がい者福祉会あすなる会	1	11	会議
	越谷市聴覚障害者協会	24	195	会議、ろう者の集い
	わらじの会	—	—	会議
	ダウン症児を持つ親の会「ポニークラブ」	8	85	会議
	越谷市精神障害者を守る会やまびこ家族会	10	55	会議
	ポーターズ越谷	—	—	療育相談
	とにかく話そう会	—	—	精神障がい者の集い
	しゃけのこいくら会	—	—	会議
	誰もがくらしやすいまちづくり実行委員会	4	31	会議
	特定非営利活動法人くおーれの風	14	133	会議
	ハンデと共に輝き生きる会	—	—	精神障がい者の集い
	あではで埼玉親の会	6	66	会議
	越谷いちごの会	17	136	会議
	自立訓練教室	10	64	訓練
	ハッピーベリー	—	—	会議
	オール	2	17	会議
	つぐみ共生会	1	27	会議
	小 計 (A)	97	820	
ボランティア団体・グループ	越谷市ボランティア連絡会	1	5	
	〃 点字はなみずき	55	297	点字の勉強会
	〃 手話すみれ	24	255	手話の勉強会
	こだま文庫	35	274	朗読勉強会
	要約筆記いちご	9	147	要約筆記学習
	文教大学「なずなの会」	1	25	障がい児との交流、会議
	越谷市手話サークルよつば会	29	348	手話学習、役員会
	越谷点字サークル	27	114	点字学習、点訳ボランティア
	ダンデライオン	—	—	障がい児との交流、会議
	特定非営利活動法人青藍会	1	10	障がい児との交流
	就労移行こしがやネットワーク	4	91	会議
	歌の広場「ペルテ」	10	154	コーラス
	手づくりの会	24	218	手芸品制作
	あみもの	22	181	あみもの
	朗読ボランティア「さなえ」	24	377	朗読ボランティア

	傾聴ゆうゆう	10	40	傾聴ボランティア
	小 計 (B)	276	2,536	
サークル	サークルこぼと	—	—	造形制作
	視覚パソコン	—	—	パソコン学習
	サークルレインボー	18	66	車イスダンスの練習
	こぼとオカリナサークル	21	306	オカリナ演奏の練習
	お絵かきいろいろの会	12	262	絵画教室
	S T T越谷	24	192	サウンドテーブルテニス
	こぼとハーモニカサークル	19	189	ハーモニカ演奏の練習
	コーラス虹	24	465	歌（コーラス）の練習
	さをり遊	16	33	さをり織り教室
	フォークダンスポルカ	—	—	フォークダンスの練習
	スポーツひかりの森	—	—	サウンドテーブルテニス
	マホラ・マハロ	1	4	フラダンスの練習
	ロービジョン友の会アリス	10	79	レクリエーション
	こぼとコロコロ	—	—	卓球バレーの練習
	ポップジャンプ	—	—	レクリエーション
	桃の里スポーツサークル	—	—	レクリエーション
生活介護 はるか	—	—	レクリエーション	
	小 計 (C)	145	1,596	
	合 計 (A+B+C)	518	4,952	

### ⑤ 障害者の日記念事業 ふれあいの日

ア 「心豊かな福祉のまちづくり」をテーマに、障がい者福祉に対する理解の促進を図り共に生きる地域社会の実現のため、市内の障がい者団体等で構成する実行委員会が中心となり、第42回「ふれあいの日」を開催しました。

また、第43回「ふれあいの日」の開催に向けた準備を進めました。

ア 期 日 令和4年(2022年)6月26日(日)

展示：令和4年(2022年)6月26日(日)から6月29日(水)まで

イ 会 場 イオンレイクタウン mori(木の広場、水の広場、花の広場)

ウ 内 容 福祉団体による舞台発表、VTRによる活動紹介、福祉団体活動発表・展示、ポスター応募作品展示、アートでは、口と足で描く芸術家協会の画家の作品を展示した。

エ 参加者 イオンレイクタウン mori での開催のため計測が不可能

- ・○第42回の開催に向けた実行委員会 5回
- ・○第42回の開催に向けた総務部会 2回
- ・○第43回の開催に向けた代表者会議 1回

## ⑥ こばと館連絡調整会議の実施

	期日	内容	参加団体数
1	7月14日(木)	こばと館連絡調整会議参加団体及び代表者紹介 各団体からの事業紹介及び情報交換 こばと館事業報告及び連絡事項等 特別講演「ひきこもり相談支援について」 利用者アンケートの報告・回答	29
2	11月24日(木)	こばと館連絡調整会議参加団体及び代表者紹介 各団体からの事業紹介及び情報交換 こばと館事業報告及び連絡事項等 特別講演「コロナ・インフルエンザの同時流行の 対策について」	20

## ⑦ 障がい者福祉ボランティアの育成

ア 手話講習会の実施、受講者、修了者へのサークル活動やボランティア活動への支援

イ こばと館ボランティア講座の実施

- ・期 日 令和5年(2023年)3月19日(日)・26日(日)
- ・会 場 中央市民会館 社会適応訓練室、日常生活訓練室
- ・内 容 車いすの構造、体験、こばと号乗車
- ・参加者 0人

5人の応募があったが、体調不良等、辞退者が多かったため中止となりました。

ウ 各種事業への協力・ボランティアの受入れ

(自立支援事業31人、余暇支援事業91人、その他の事業0人)

エ 障がい者理解のための福祉教育の一環として、各種見学者の受入れ

(自立支援事業17人、余暇支援事業7人、その他の事業14人)

## ⑧ 地域住民に対する障がい者福祉の啓発

ア 館外研修 視覚障がい者エンジョイ教室館外研修

令和4年度(2022年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止となりました。

イ 館外研修

令和4年度(2022年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止となりました。

ウ こばと館文化祭(作品展・あい♡愛コンサート)

各事業の参加者及び登録団体における創作活動や音楽活動などの成果を発表する場を供与することにより、創作意欲のより一層の向上と余暇活動の充実を図ることを目的に開催する。

また、一般市民に広く周知を図ることにより、こばと館の広報と障がい者の理解を深めていただくことを目的とする。

○作品展

- ・期 日 令和5年(2023年)2月15日(水)から19日(日)まで
- ・会 場 越谷市中央市民会館2階 市民ギャラリー
- ・出展数 312点
- ・来場者 205人
- ・内 容 こぼと館事業及びサークルで作成した絵画、さをり織り、クラフト等の作品を展示。

○あい♡愛コンサート

- ・期 日 令和5年(2023年)3月5日(日)
- ・会 場 中央市民会館1階劇場
- ・出演者数 8団体96人
- ・来場者数 224人
- ・内 容 サークル参加者によるパフォーマンスと楽器演奏、コーラスの発表。

エ こころのアート展(作品展)

イオンレイクタウンの協力のもと、障がい者や、障がい福祉に対する理解を図ることを目的として、文化芸術活動に取り組んでいる障がい者が創作した作品展を行いました。

- ・期 日 令和4年(2022年)11月30日(水)から12月2日(金)まで  
※障害者週間
- ・会 場 イオンレイクタウンmori 1階 花の広場
- ・内 容 市内在住・在学の障がい児・者とその関係者が創作した作品展示。
- ・出展数 277点  
(絵画73点、工作177点、習字9点、その他18点)

⑨ 貸室、設備の提供

図書・ビデオ貸出し、自助具展示、印刷機利用の提供、こぼと館登録団体への団体室3のロッカー貸与、団体室3での活動支援(貸出し)等を行いました。

⑩ 通所介助業務

利用者の便宜を図るため、リフト付きワゴン車にて、自宅からこぼと館の送迎を107日、163回、延べ390人に行いました。

(2) コミュニケーション支援事業(市受託事業)

平成14年(2002年)10月から聴覚に障がいのある方の情報保障として実施してきた手話通訳者派遣事業は、要約筆記者の派遣と併せて事業が一本化され、障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業の「意志疎通支援事業」に位置付けられています。

当事業の派遣に際しては、派遣担当者2人がコーディネイト業務を行い、登録手話通訳者12人と登録要約筆記者14人が手話通訳・要約筆記業務を行いました。内容については、主に「医療・保健に関すること」「福祉に関すること」「社会生活に関すること」等の場面に手話通訳者・要約筆記者の派遣を行いました。

また、研修会を実施することにより手話通訳者・要約筆記者の技術研鑽を図り、より専門性の高いサービス提供に努めました。

### ① 派遣申請、派遣状況

ア 派遣申請件数 1, 347件

イ 延派遣人数（複数派遣を含む） 1, 579人

（内訳 担当職員 336件、登録手話通訳・要約筆記者 1,214件、その他29件）

ウ 延派遣時間 2, 375時間20分

（内訳 手話通訳：1,618時間20分、要約筆記：757時間00分）

〈内容別手話通訳者・要約筆記者派遣人数〉 上段：手話 下段：要筆 （単位：人）

内 容		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
1	医療・保健に関すること	519	526	600	758	722	95.3
		165	113	102	181	114	63.0
2	権利保持・司法に関すること	12	7	34	29	46	158.6
		3	0	2	4	7	175.0
3	労働に関すること	27	3	27	27	10	37.0
		22	2	5	1	2	200.0
4	教育・保育に関すること	58	73	21	45	34	75.6
		4	14	0	4	17	425.0
5	公的機関での手続き等	17	12	21	25	35	140.0
		5	3	3	1	1	100.0
6	冠婚葬祭	8	19	5	14	12	85.7
		0	0	0	0	0	—
7	財産保持に関すること	43	9	9	10	5	50.0
		0	0	0	0	0	—
8	社会生活に関すること	107	124	109	114	161	141.2
		12	4	7	11	11	100.0
9	文化・教養に関すること	118	71	23	21	26	123.8
		130	91	9	30	18	60.0
10	福祉に関すること	139	216	115	98	143	145.9
		162	214	150	167	215	128.7
合 計		1,048	1,060	964	1,141	1,194	104.6
		503	441	278	399	385	96.5

### ② コミュニケーション支援事業運営委員会

	期日	内容
1	10月26日（水）	上半期事業報告ほか
2	3月22日（水）	年間の事業報告ほか

③ 登録手話通訳者認定試験審査会

	期日	内容
1	12月13日(火)	認定審査会の実施について、試験問題について
2	3月3日(金)	受験者の応募状況確認、予備審査、試験問題最終確認
3	3月25日(土)	認定試験実施、合否判定(受験者数9人うち1人合格)

④ 登録要約筆記者認定試験審査会

	期日	内容
1	12月2日(金)	認定試験の実施について
2	1月26日(木)	受験者の応募状況確認、予備審査、試験問題最終確認
3	2月24日(金)	認定試験実施、合否判定(受験者数5人うち1人合格)

⑤ 登録手話通訳者・要約筆記者向けの研修会・業務ミーティング

ア 研修会

	期日	内容	講師
1	10月28日(金) 29日(土) 11月12日(土)	・実技研修「要約筆記技術の強化」 手話通訳者・要約筆記者派遣事務所主催(登録要約筆記者対象)	特定非営利活動法人 全国要約筆記問題研究会
2	10月22日(土) 3月26日(日)	・実技研修「読取り通訳(翻訳)トレーニング」 ・対象者支援に関する研修 手話通訳者・要約筆記者派遣事務所主催(登録手話通訳者対象)	越谷市登録手話通訳者

イ 業務ミーティング

	期日	内容
1	5月21日(土)	事務連絡及び報告、事例検討・ディスカッションほか
2	9月3日(土)	事務連絡及び報告、事例検討・ディスカッションほか
3	1月18日(水)	事務連絡及び報告、事例検討・ディスカッションほか

⑥ 手話通訳者・要約筆記者の頸肩腕検診の実施

手話通訳者・要約筆記者の頸肩腕症候群予防のための検診を実施しました。

⑦ 聴覚障がい者対象教養講座

聴覚障がい者の方々が一般の講演会等に参加しにくい現状を踏まえて、教養講座として講演会を実施することにより、聴覚障がい者福祉に寄与することを目的として行いました。

なお、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止となりました。

⑧ 要約筆記相談会

コミュニケーション支援事業における要約筆記者の派遣制度が十分に周知されていない現状を踏まえて、相談会を実施することにより、聴覚障がい者、特に難聴者・中途失聴者の事業の理解の促進及び利用に繋げることを目的として行います。

なお、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止となりました。

⑨ 登録手話通訳者認定試験対策講座

ア 期 日 令和4年(2022年)11月19日(土)、1月28日(土)全2回  
 イ 内 容 手話通訳実技(読取り通訳)  
 ウ 延参加者 11人  
 エ 協 力 越谷市登録手話通訳者

⑩ 登録要約筆記者認定試験対策講座

ア 期 日 令和4年(2022年)12月16日(金)、1月20日(金)全2回  
 イ 内 容 要約筆記実技・事例検討  
 ウ 延参加者 7人  
 エ 協 力 越谷市登録要約筆記者

⑪ その他

ア 相談対応(232件)・電話代行(127件)

聴覚障がい者の方からの相談や問い合わせに対応しました。また、電話を使用する通訳(電話通訳)や日常的に情報収集が困難な聴覚障がい者の方々に情報提供を行いました。

〈相談内容〉

(単位:件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
1 電 話 通 訳	37	28	34	39	66	169.2
	10	10	2	4	2	50.0
2 他課所での相談通訳	1	0	1	5	16	320.0
	1	0	1	0	0	—
3 通 訳 申 請	49	30	31	44	28	63.6
	24	9	4	2	5	250.0
4 直 接 相 談	27	27	27	58	74	127.6
	7	10	5	5	4	80.0
5 その他(情報提供等)	38	31	32	55	32	58.2
	14	3	1	5	5	100.0
合 計	152	116	125	201	216	107.5
	56	32	13	16	16	100.0

※ 上段は手話通訳者派遣事業利用者、下段は要約筆記者派遣事業利用者からの相談件数

### (3) 障害者就労訓練施設しらこぼと（指定管理事業）

平成23年(2011年)4月から指定管理者として、障がい者の就労に必要な知識や能力の向上のための訓練を行い、障がい者が地域で働き、自立し、安心して暮らしていけるよう、地域住民との交流を図りながら、生活に関する相談を行いました。

また、障害者総合支援法に基づく事業所として、就労継続支援B型事業、就労移行支援事業及び就労定着支援事業を実施しました。

#### ① 施設管理

指定管理者として、施設の管理、運営を行いました。

〈ホール使用実績〉

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
使用件数 (件)	136	136	71	99	124	125.3
延べ使用者数 (人)	3,314	3,854	966	1,316	1,583	120.3

〈ふれあいコーナー使用実績〉

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
使用件数 (件)	1,222	1,263	1,047	1,066	1,285	120.5
延べ使用者数 (人)	10,987	10,823	9,047	8,336	7,555	90.6

〈前庭等使用実績〉

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
使用件数 (件)	2	9	7	1	2	200.0
延べ使用者数 (人)	175	119	49	70	125	178.6

#### ② 指定障害福祉サービス事業所「しらこぼと」

昭和55年(1980年)5月に開所した越谷市立しらこぼと職業センターの事業を「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービス事業所として、就労継続支援B型事業や就労移行支援事業を行いました。また、令和3年度(2021年度)から新たに就労定着支援事業を開始しました。

##### ア 就労継続支援B型事業

一般企業に就労することが困難な方などに、生産活動の場を提供するとともに、一般就労に向け必要な知識や能力の向上のための支援を行いました。

主な支援内容

○受注、内職（箱折り、だるまの底付け、袋詰め作業等）

○パンやクッキーの生産販売

市役所、老人福祉センター（けやき荘、くすのき荘、ゆりのき荘、ひのき荘）及びREUSE（リユース）においても販売訓練を行いました。

○農作物の生産販売

〈授産品収入合計〉

（単位：円）

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
授産品(B型)	3,457,760	3,520,734	3,209,508	3,291,764	3,593,986	109.2
しらこぼと工房	8,523,255	6,710,615	7,377,320	7,094,786	8,185,315	115.4
合 計	11,981,015	10,231,349	10,586,828	10,386,550	11,779,301	113.4

〈工賃〉

(単位：円)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
就労継続B型	6,814,637	5,874,499	6,046,040	6,268,229	6,655,720	106.2

平均工賃…工賃支払総額 6,655,720 (円) ÷ 支払総人数 587 (人) ≒ 11,339 円 (月額)

イ 就労移行支援事業

一般企業への就労を希望する方に対し、一定期間を定め就労に必要な知識や技術の習得のための支援を行い、能力の向上を図りました。

主な支援内容

- 施設内、外での実習による適応支援
- 生活支援 (挨拶、身だしなみ等)
- 就職活動支援
- 就業定着支援

就労先

- ・清掃業 1人

〈授産品収入合計〉

(単位：円)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
授産品(移行)	41,535	4,000	101,340	70,210	83,630	119.1

〈工賃〉

(単位：円)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
就労移行支援	41,535	4,000	101,340	70,210	83,630	119.1

ウ 就労定着支援事業

就労を継続している期間が6か月を経過した方を対象に、就労の継続を図るため、企業、家庭、障害福祉サービス事業所等の連絡調整を行うとともに、雇用に伴い生じる日常生活又は社会生活を営む上での各般の問題に関する相談、指導及び助言等の必要な支援を行いました。

主な支援内容

- 企業訪問
- 電話相談
- 来所相談

③ 障がい者の生活支援に関すること

ア 生活相談

市内の各種相談機関、サービス事業所等と連携し、市内在住の生活支援を必要とする障がい者とその家族に対し、障害福祉サービス等の利用援助、自立生活の支援や社会生活のアドバイスを行いました。

〈相談件数〉

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
相談件数 (件)	1,646	2,051	2,396	2,576	2,232	86.6
延べ相談者数 (人)	3,047	3,591	3,919	4,063	3,623	89.2

〈相談内容〉

(単位：件)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
日常生活	1,055	871	795	953	573	60.1

福祉制度利用相談	921	1,275	1,441	1,648	1,647	99.9
医療	86	80	34	12	24	200.0
家庭	26	27	31	17	11	64.7
仕事	24	39	110	57	8	14.0
経済	22	6	11	10	1	10.0
その他 (住居・対人関係・健康等)	38	55	66	11	46	418.2

#### ④ 障がい者と地域住民との交流に関すること

##### ア しらこぼとマルシェ in イオンレイクタウン

障がい者が地域で自立し安心して生活するため、地域の方々の理解と協力を図り、住みやすい福祉のまち作りを進める「協働の場」となることを目的として、市内障害福祉サービス事業所等の生産品の販売訓練、事業所紹介をイオンレイクタウンで開催しました。

- ・期 日 令和4年(2022年)10月13日(木)、14日(金)
- ・会 場 イオンレイクタウン mori 花の広場
- ・内 容 市内障害福祉サービス事業所等による生産品の販売訓練及びブースでの事業紹介
- ・参加事業所 10月13日(木) 9事業所  
10月14日(金) 9事業所  
(延べ18事業所)
- ・売上総額 276,990円

##### イ こころの아트展 (イオンレイクタウン会場)

イオンレイクタウンの協力のもと、障がい者や、障がい福祉に対する理解を図ることを目的として、文化芸術活動に取り組んでいる障がい者が創作した作品展を行いました。

また、多くの方が行き交う中で作品を展示し、豊かな感性に触れていただくとともに、障がい者の社会参加に向けた支援につながるよう実施しました。

- ・期 日 令和4年(2022年)11月30日(水)から12月2日(金)まで
- ・会 場 イオンレイクタウン mori 花の広場

##### ウ 障害福祉サービス事業所等の案内

越谷市障害者就労訓練施設しらこぼとふれあいコーナーにおいてパネル及びショーウィンドーを用いて、障害福祉サービス事業所等の紹介を行いました。

- ・期 日 通年
- ・会 場 越谷市障害者就労訓練施設しらこぼとふれあいコーナー
- ・内 容 パネル  
障害福祉サービス事業所等の活動内容等の案内や紹介  
ショーウィンドー  
障害福祉サービス事業所等の紹介やPR生産又は製作した製品(授産品)の展示

## ⑤ 就労訓練事業

### ア 越谷市障害福祉サービス事業所等連絡会議

障がい者の就労訓練の支援を図るため、市内障害福祉サービス事業所等による支援ネットワークの構築、就労訓練の方策及び就労ニーズの創出等について意見交換及び協議を行うことを目的に開催しています。

- ・期 日 ①令和4年(2022年)9月21日(水)午後1時30分～3時  
②令和4年(2022年)9月28日(水)午後1時30分～3時
- ・会 場 越谷市障害者就労訓練施設しらこぼとホール
- ・参加事業所 9月21日(水)6事業所  
9月28日(水)22事業所  
(延べ28事業所)

### イ 生産品の販売訓練

障がい者の就労能力や社会適応力の向上及び社会参加の促進を目的とした販売訓練の申込み受付、報告業務を行いました。

〈就労訓練施設しらこぼと〉

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
実施回数(回)	63	124	65	88	124	140.9
延べ実習者数(人)	164	516	284	405	436	107.7
売上総額(円)	231,200	421,350	204,185	263,050	271,814	103.3

### ウ しらこぼとセミナー

障がい者支援関係者の支援技術向上及び障がい者の生活と就労に役立つことを目的として、講演会を開催しました。

- ・期 日 令和4年(2022年)9月8日(木)午後1時30分～4時
- ・会 場 越谷市障害者就労訓練施設しらこぼとホール
- ・参加者 43人(セミナー受講者のみの人数)
- ・講 師 社会福祉法人みぬま福祉会 総合施設長 松本哲 氏

### エ しらこぼと専門講座

#### ○パソコン講座

障がい者がパソコンなどを活用し、就業や生活に役立つよう講座を実施しました。

一人一人にあったレベルから始めることができ、効率よくスキルが身に付くよう、予約制の個別対応としました。

- ・期 日 令和4年(2022年)5月1日(日)から令和5年(2023年)3月31日(金)まで
- ・会 場 越谷市障害者就労訓練施設しらこぼと相談室
- ・内 容 タイピング、数値入力、文章入力、コピー&ペースト、検索修正、ファイル整理、ワード、エクセル、テキストを使用した自己学習
- ・講 師 当館職員
- ・参加者 延べ97人

○はたらく準備講座

就労を目指す障がい者を対象に、就職活動に役立つ教室を実施することにより、就労につなげることを目的に実施しました。

- ・期 日 令和4年(2022年)5月1日(日)から令和5年(2023年)3月31日(金)まで
- ・会 場 越谷市障害者就労訓練施設しらこぼと相談室又はふれあいコーナー
- ・内 容 ビジネスマナー、面接の受け方、お金の使い方、自己理解、求人票の見方、履歴書の書き方、ストレス管理など
- ・講 師 当館職員
- ・参加者 1人

○作業体験講座

就労を目指す障がい者を対象に、就職活動に役立つ教室を実施することにより、就労につなげることを目的に実施しました。

- ・期 日 令和4年(2022年)5月1日(日)から令和5年(2023年)3月31日(金)まで
- ・会 場 越谷市障害者就労訓練施設しらこぼとホール
- ・内 容 障がい者向けに開発されたMWS(幕張版ワークサンプル)評価・訓練ツールを使用して、軽作業又はパソコン作業の体験をしていただき、その評価を行いました。
- ・講 師 当館職員
- ・参加者 延べ4人

⑥ その他

ア 運動、文化活動を通じ利用者と職員間の交流を図るとともに、余暇活動の楽しさを知ってもらうためクラブ活動を行いました(納涼会、クリスマス会等)。

イ 保護者の方への情報提供や家庭での生活の状況確認、保護者と職員との交流、また、家庭での生活を円滑に過ごすため隔月で保護者連絡会を開催しました。

ウ 事業所からの連絡事項、活動内容、利用者の様子を保護者の方へ知らせる、「しらこぼと通信」を発行しました(毎月1日)。

エ 施設内行事として、次の行事を行いました。

事業名	期 日
お疲れ様会	6月30日、9月30日 12月28日、3月31日
防災訓練	7月12日、2月22日
交通安全教室	5月24日
納涼会	8月31日
水害訓練	12月28日
歯科健診	11月10日
防犯訓練	11月16日

クリスマス会	12月23日
AED研修（応急救護訓練）	3月22日

オ 施設外行事として、次の行事を行いました。

事業名	期日	場所	人数
市内散策（いちご狩り）	3月23日	越谷いちごタウン	利用者41人

カ 施設外行事として、次の行事を行う予定でしたが、令和3年度(2021年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、事業の実施が中止となりました。

事業名	期日	場所	人数
宿泊実習	10月中旬	—	—

キ 地域との交流やコミュニケーションを図る場、また、パンやクッキー、野菜などの自主生産品を販売することで当事業所のPRを行うとともに、利用者が販売に参加することで社会性を身につける場として次の事業へ参加しました。

事業名	期日	場所
コシガヤマルカル	6月12日	中央市民会館
ふれあいの日	6月26日	イオンレイクタウン
協働フェスタ	10月8日	中央市民会館
しらこぼとマルシェ	10月14日	イオンレイクタウン
越谷アルファーズホームゲームでの販売訓練	1月7日	総合体育館
生涯学習フェスティバル	2月26日	中央市民会館
市役所お仕事展	9月中旬	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、事業の実施が中止及び不参加となりました。
市民まつり	10月下旬	
リユースまつり	11月中旬	
ボランティアフェスティバル	12月上旬	

#### （４）障害者相談支援センター「しらこぼと」

平成26年(2014年)6月から、障害者総合支援法に基づく指定特定相談支援事業者として、指定特定相談支援事業を行いました。

- ・生活全般についての相談
- ・障害福祉サービスの利用についての情報提供や助言、アセスメントやモニタリング、サービス等利用計画書の作成等
- ・様々な社会資源を活用するための情報提供や助言
- ・地域で生活するために必要な力を高めるための支援
- ・サービス事業者との連絡調整
- ・権利を守るために必要な援助を行う専門機関の紹介 など

〈サービス等利用計画相談支援内容〉

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
制度問合せ等	3	14	7	0	1	0.0
アセスメント・面談						
本人・家族	239	438	330	433	394	91.0
関係機関	229	423	150	241	219	90.9
契約手続	4	29	11	12	3	25.0
モニタリング	308	623	838	804	948	117.9
合 計	595	1,527	1,336	1,490	1,565	105.0

〈サービス等利用計画相談支援対象者内訳〉

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
身体障がい者	38	72	92	78	92	117.9
知的障がい者	684	774	896	977	1,103	112.9
精神障がい者	133	315	391	427	433	101.4
発達障がい者	17	27	25	8	13	162.5
難病患者・その他	5	26	60	65	9	13.8
合 計	877	1,214	1,464	1,555	1,650	106.1

〈サービス等利用計画相談支援契約者内訳〉

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
身体障がい者	4	5	6	7	6	85.7
知的障がい者	57	74	76	80	81	101.3
精神障がい者	16	27	25	32	29	90.6
難病患者・その他	2	3	2	2	1	50.0
合 計	79	109	109	121	117	96.7

## II 公益事業

### 1 公益事業

#### (1) ファミリー・サポート・センター事業（市受託事業）

ファミリー・サポート・センターは、地域において「子育ての援助を受けたい方」（利用会員）と「子育ての援助を行いたい方」（提供会員）を会員として組織し、会員間による子育ての援助活動を支援することにより、児童福祉の向上を図るとともに地域の子育て支援機能を強化し、全ての親が安心して子育てできる環境づくりに資することを目的としています。

平成12年(2000年)から当会が受託し、保育士等の資格を有するアドバイザーが、調整業務等を行います。

- 利用会員 5市1町内に居住又は勤務をされていて子育ての援助を希望する方
- 提供会員 越谷市に居住しており、子育ての援助活動に熱意のある20歳以上の健康な方
- 援助時間 午前6時から午後10時までの間の希望する時間
- 対象児童 利用会員が登録した0歳から小学校6年生までの児童

#### ① 利用料（利用会員が提供会員に支払う1時間あたりの利用料）

活 動 時 間	平 日	土・日・祝日
午前6時～7時	900円	1,100円
午前7時～午後7時	700円	900円
午後7時～10時	900円	1,100円

#### ② 会員登録状況

（単位：人）

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比（%）
利 用 会 員	男	104	108	116	123	130	105.7
	女	1,667	1,777	1,796	1,835	1,836	100.1
	計	1,771	1,885	1,912	1,958	1,966	100.4
提 供 会 員	男	21	19	17	20	12	60.0
	女	309	309	273	293	171	58.4
	計	330	328	290	313	183	58.5
両会員	男	1	1	0	0	0	—
	女	20	23	20	21	13	61.9
	計	21	24	20	21	13	61.9
合 計	男	126	128	133	143	140	97.9
	女	1,996	2,109	2,089	2,149	1,992	92.7
	計	2,122	2,237	2,222	2,292	2,132	93.0

③ 提供会員の有資格状況

(単位：人)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
1 保健師	0	0	0	1	1	—
2 看護師	6	6	4	6	7	116.7
3 保育士	65	64	58	62	62	100.0
4 幼稚園教諭	66	66	60	64	64	100.0
5 教員	44	39	34	35	35	100.0
6 ヘルパー1級	0	0	0	0	0	—
7 ヘルパー2級	39	36	29	29	29	100.0

④ 会員に対する講習会等の開催

区分	研修名	開催日	内容	受講者数(人)
1	初期研修①	9月5日(月)、 20日(火)	講義、救命講習	14
2	初期研修②	11月15日(火)、 29日(火)	講義、救命講習	21
3	初期研修③	1月10日(火)、 17日(火)	講義、救命講習	11
4	ステップアップ	10月11日(火)	救命講習	10
5	交流会	3月7日(火)	講義、交流	11

⑤ 活動状況

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
1 保育所・幼稚園の登園 前の預かり及び送り	310	639	340	344	393	114.2
	269:32	713:05	319:39	346:09	353:20	102.1
2 保育所・幼稚園の迎え 及び帰宅後の預かり	874	1,012	891	507	711	140.2
	1,342:00	1,629:16	1,075:08	493:26	998:34	202.4
3 保育所・幼稚園の帰 宅後の預かり	0	0	0	1	1	100.0
	0	0	0	2:00	1:00	50.0
4 学童の放課後の預 かり	93	146	72	63	97	154.0
	313:04	336:58	127:16	173:35	334:25	192.7
5 学童保育の迎え及 び帰宅後の預かり	431	451	283	161	186	115.5
	735:55	771:57	451:50	374:10	301:53	80.7
6 学童保育からの帰 宅後の預かり	0	0	0	0	2	—
	0	0	0	0	02:00	—
7 子供の病気時の援 助	0	0	0	0	0	—
	0	0	0	0	0	—

8	子供の習い事等の 場合の援助	1,522	1,724	1,245	1,514	1,469	97.0
		1,525:37	1,652:47	964:17	1410 : 51	1238 : 59	87.8
9	保育所・学校等休み 時の援助	10	2	2	13	26	200.0
		53:42	14:00	12:00	122 : 00	207 : 35	170.2
10	保育所等施設入所 前の援助	0	0	0	0	0	—
		0	0	0	0	0	—
11	保護者等の短時間・臨 時的就労の場合の援助	122	111	131	109	31	28.4
		729:37	428:30	585:20	648 : 13	117 : 10	18.1
12	保護者等の求職活 動中の援助	3	0	0	4	0	—
		6:00	0	0	17 : 00	0	—
13	保護者等の冠婚葬祭による外出、 他の子供の学校行事の際の援助	25	10	0	4	7	175.0
		72:45	33:15	0	9 : 30	12 : 05	127.2
14	保護者等の外出の 場合の援助	224	188	140	183	213	116.4
		720:28	651:25	533:03	682 : 35	852 : 52	124.9
15	保護者等の病気や急 用等の場合の援助	197	52	77	73	37	50.7
		608:25	410:10	455:35	293 : 29	101 : 57	34.7
16	その他	475	514	677	711	817	114.9
		437:02	471:12	662:24	768 : 55	891 : 31	115.9
合 計		4,286	4,849	3,858	3,687	3,990	108.2
		6,814:07	7,112:35	5,186:32	5341 : 53	5413 : 21	101.3

※ 上段…派遣件数、下段…派遣時間

## (2) 市民プール（指定管理事業）

### ① 管理運営

指定管理者（平成18年(2006年)4月～）として、「ふれあいと健康づくり」を基本テーマに、子供から高齢者、障がい者が利用できる複合施設としての機能を生かし、市民等のスポーツ振興を図るとともに、各種プール、トレーニングルームを安心して利用できるよう令和元年度(2019年度)からシンコースポーツ株式会社との共同事業体を構成し、万全の体制で施設の管理・運営に努めました。

なお、介護予防やリハビリテーション、健康増進等の観点から、運動による身体機能向上やストレス発散、運動不足解消の場としてQOL（生活の質）の向上を図るため例年開催しているスポーツ教室を、令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、縮小して実施しました。

また、同じく新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和2年(2020年)6月16日から令和4年(2022年)6月30日までの間、1公開につき温水プール40名、令和2年(2020年)7月1日から令和4年(2022年)6月30日までの間、トレーニングルーム20名までの人数制限を設けました。

## ② 利用状況

〈プール〉

(単位：人)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)	
開館日数 (日)	274	261	138	287	287	100.0	
5市1町	一 般	28,368	27,420	5,641	10,312	18,490	179.3
	障がい	1,469	1,035	216	285	613	215.1
	60歳以上	44,105	41,967	8,734	18,036	24,547	136.1
	児童生徒	11,788	11,507	1,960	4,480	8,587	191.7
	児童生徒 (障がい)	533	533	76	74	256	345.9
	計	86,263	82,462	16,627	33,187	52,493	158.2
5市1町外	一 般	809	847	207	678	1,389	204.9
	障がい	147	137	24	29	68	234.5
	60歳以上	1,003	1,013	416	1,426	1,468	102.9
	児童生徒	432	315	75	186	452	243.0
	児童生徒 (障がい)	28	44	6	3	8	266.7
	計	2,419	2,356	728	2,322	3,385	145.8
小 計	88,682	84,818	17,355	35,509	55,878	157.4	

〈トレーニングルーム〉

(単位：人)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)	
開館日数 (日)	298	280	131	308	308	100.0	
5市1町	一 般	26,591	25,180	3,902	8,350	12,655	151.6
	障がい	776	875	96	218	315	144.5
	60歳以上	25,958	25,461	4,639	11,095	16,207	146.1
	計	53,325	51,516	8,637	19,663	29,177	148.4
5市1町外	一 般	184	250	51	322	390	121.1
	障がい	32	33	0	2	48	2,400.0
	60歳以上	182	258	85	90	114	126.7
	計	398	541	136	414	552	133.3
小 計	53,723	52,057	8,773	20,077	29,729	148.1	

〈プール・トレーニングルーム合計利用者数〉

(単位：人)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
合 計	142,405	136,875	26,128	55,586	85,607	154.0

## ③ 健康増進事業

〈多目的ホール〉

(単位：人)

期 日	事業名	延べ参加者数
1月17日～ 2月21日	カキラ	71
1月19日～ 2月23日	ザ・サーキット	18

1月21日～ 2月25日	ピラティス	80
1月22日～ 2月26日	キックボクシングエクササイズ	72

### (3) 地域包括支援センター事業（市受託事業）

平成18年(2006年)4月から、主に越ヶ谷地区を担当地域として、高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある生活が送れるよう、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員等の専門職を配置し、介護予防の推進や高齢者の総合相談支援・権利擁護業務等として以下の業務を積極的に実施しました。

#### ① 地域におけるネットワークの構築に関すること

高齢者が地域で安心して生活できるよう、地域の様々な社会資源が連携し、支援を要する人の早期発見を目的とした、越谷市地域包括ケアネットワークの構築を図ることに努めました。令和4年度(2022年度)は、新型コロナウイルス感染対策を図りながら、引き続き病院・診療所、歯科医院、薬局などとの連携強化に努めました。

##### ア 社会資源の情報提供

地域のインフォーマルサービスや、現行のフォーマルサービスを活用し、支援を必要とする、高齢者等の生活を支えることを目的として、地域住民やケアマネジャーへ社会資源の情報提供に努めました。

##### イ 地域包括支援ネットワークの周知

越谷市地域包括ケアネットワークへの協力依頼を行い、地域包括支援ネットワークの周知に努めました。

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
周知回数(件)	204	375	30	74	79	106.8

##### ウ 健康相談の実施

令和4年度(2022年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、健康相談の実施は自粛といたしました。

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
実施回数(件)	4	14	0	0	0	—
延参加人数(人)	32	43	0	0	0	—

##### エ 健康講話等の実施

令和4年度(2022年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じ実施しました。

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
実施回数(件)	7	11	1	0	3	—
延参加人数(人)	224	180	23	0	138	—

オ 認知症サポーター養成講座の実施

新型コロナウイルス感染症の感染対策を図りながら、地区センターを始め医療機関や金融機関で認知症サポーター養成講座を実施しました。

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
実施回数(件)	5	4	2	1	8	800.0
延参加人数(人)	259	135	46	27	132	488.9

カ 担当地区である越ヶ谷地区の自治会長や民生委員・児童委員、福祉推進員などとの連携を強化し、地域包括支援センターの周知や地域課題の把握、高齢者等のニーズ把握を行いました。

キ 地域包括支援ネットワーク会議

越谷市地域包括ケアネットワークの活動に賛同した団体や事業所等との情報・意見交換、地区内での高齢者の見守り活動体制の強化を図ることなどを目的に新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じて開催しました。

また、地域ケア会議の地区レベルの会議として、ケース検討会議と連動させ、開催しました。

	期 日	内 容	参加者数
1	6月17日(金)	○第1部 デジタル講座『オンラインに参加してみよう』 講師：SOMPO ホールディングス(株) 今井良英氏 ○第2部 講義『ケアラーってなあに？ケアラー支援の現状』講師：SOMPO ホールディングス(株) 須田慶子氏 ○支え合い会議の活動報告 ○地域ケア会議について	51人
2	2月2日(木)	○地域ケア会議について ○支え合い会議の活動報告 ○人生会議について 講師：岡野クリニック 院長 岡野昌彦氏 ○高齢になった時に必要なこと 講師：医療と介護の連携窓口 小今井洪美氏	58人

ク ケース検討会議

支援が必要な高齢者に対し、多職種協働の下、個人に対する支援の充実を図るとともに、その背景にある地域課題を把握し解決することを目的に、地域ケア会議の個別レベルの会議として、開催しました。

<支援困難型>地区ごとにオンラインで開催

	期 日	内 容	参加者数
1	8月4日(木)	『身元保証や振り込み等の支援者がいない在宅酸素療法中の 独居高齢者の支援について』	9人

<自立支援型>

市内に2つの会議体を設置し、各包括支援センターが司会・事例提供・助言の3つの役割分担をし、今年度からオンラインで開催しました。

※ 下表は主催（司会）開催分

	期 日	内 容	参加者数
1	5月24日(火)	北部第2回：提供事例1事例	15人
2	11月16日(水)	北部第8回：提供事例1事例	14人

② 総合相談支援・権利擁護に関すること

ア 総合相談支援

高齢者やその家族、地域住民などからの様々な相談に保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員等が総合的に対応しました。

(単位：人)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
延電話数	1,954	3,509	4,159	4,883	5,685	116.4
延来所数	203	302	249	231	187	81.0
延訪問数	1,052	850	892	1,105	1,124	101.7

イ 権利擁護

高齢者が安心して暮らせるように、関係機関が連携し、成年後見制度等の紹介や虐待の早期発見・防止に努めました。

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
相談回数	13	24	40	65	59	90.8
延訪問回数	11	3	9	88	21	23.9

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務に関すること

高齢者の方々が、心身の状態やその変化に合わせて、途切れることなく必要なサービス提供がされるよう、主任介護支援専門員が中心となり、介護支援専門員の支援や関係機関との調整を図りました。また、市との連絡調整会議を実施しました。

ア 介護支援専門員等に対する支援業務

介護支援専門員やサービス事業者からの相談に応じました。

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)	
延相談件数	介護支援専門員	25	35	121	48	47	97.9
	(内) 同行訪問	19	46	38	49	52	106.1
	サービス事業者	19	9	27	9	21	233.3

イ 市との地区担当打合せ

市との地区担当打合せにおいて、地域住民及び介護支援専門員より相談のあった困難事例の検討をオンラインで行いました。

(単位:件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
開催回数	8	7	5	6	7	116.7
延検討件数	18	2	1	1	1	100.0

#### ④ 介護予防ケアマネジメント事業に関すること

介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）対象者の要支援1・2の高齢者及び事業対象者に、アセスメント、ケアプラン作成等を実施し、一般介護予防事業や介護予防サービスの利用につなげ、状態の改善を図りました。

〈新規件数〉

(単位:件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
介護予防事業 (要支援1・2)	26	26	24	22	27	122.7
総合事業	27	31	27	28	38	135.7

〈継続件数(延べ)〉

(単位:件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
介護予防事業 (要支援1・2)	733	810	815	855	865	101.2
(内)委託	247	271	230	189	212	112.2
総合事業	605	572	515	547	637	116.5
(内)委託	238	164	139	126	133	105.6

#### ⑤ 啓発事業の実施

社協だよりやホームページ、地区センターだより等にて、地域包括支援センターの活動内容や認知症予防等について啓発活動を行いました。

#### (4) 成年後見センター事業

越谷市成年後見事業実施要綱（平成23年(2011年)8月31日告示第281号※10月1日施行）が越谷市で制定されたことに伴い、その一部業務を当協議会が受託し、平成23年(2011年)10月1日に「成年後見センターこしがや」を開設しました。

センターでは、越谷市からの受託事業として、成年後見制度の普及・啓発、個別相談への対応、申立手続き支援、後見業務に係る関係機関の情報提供等を実施するほか、地域連携ネットワークの中核機関として、早期の段階で専門職が関与できるケース検討会議の開催、専門職団体など地域の関係者が連携し、地域課題の検討、調整、解決に向けて継続的に協議するための協議会を開催しました

市民後見人養成事業については、市民後見人候補者名簿登録者を対象に、年4回の継続研修を実施するとともに、就任支援、活動支援を行いました。

また、当協議会の独自事業として、協議会が法人として後見人等を受任する、法

人後見事業を実施するとともに、一人暮らし高齢者の方等の孤立防止を目的としたみまもり・あんしん事業を実施するなど、心身の状況の変化に即した切れ目のない支援に取り組みました。

#### ア 成年後見制度の普及・啓発

##### (ア) 制度の普及・啓発

###### ○対象者別パンフレットの作成及び配付

本人及び親族・福祉関係者等対象者別に、成年後見制度に関するパンフレットを作成しました。

・作成部数 各 2,000 部

###### ○チラシの配布

成年後見センターのチラシを市内関係機関、金融機関に配布しました。また、市民後見人の広報のため、市民後見人のチラシを市内関係機関に配布しました。

###### ○講演会の実施

成年後見制度がより身近な制度として、広く市民に活用されるよう、制度の普及・啓発を目的とし、講演会を実施しました。また、事前に申し込みのあった方に対し、講演会の内容をオンラインで配信しました。

実施方法	開催・配信日	会場	内容	講師	参加及び視聴回数
集合型	令和5年2月17日 (金)	中央市民会館 劇場	「私たちの暮らしと 成年後見制度」	弁護士 菊池 幸夫 氏	184人
オンライン	令和5年 3月16日(木) ～4月17日(月)	オンラインによる配信			193回 (申込者数 114人)

###### ○事業説明及び出前講座等の実施

関係機関等及び各団体からの依頼に対し、成年後見センター事業及び成年後見制度等について説明を行いました。

	会議等の名称	期日	会場	参加者
1	成年後見制度出前講座	6月15日(水)	ふらっとおおぶくろ	15人
2	成年後見制度出前講座	7月5日(火)	南越谷地区センター	11人
3	成年後見制度出前講座	8月5日(金)	出羽地区センター	40人
4	成年後見制度出前講座	9月6日(火)	桜井交流館	51人
5	成年後見制度出前講座	9月8日(木)	成年後見センター会議室	6人
6	エンディングノートを学ぼう	10月7日(金)	桜井交流館	50人
7	成年後見制度とエンディングノートについて	11月2日(水)	オーベル北越谷	11人
8	成年後見制度出前講座	11月22日(火)	安国寺	40人
9	埼玉県立大学高齢者保健福祉論 ゲストスピーカー	12月9日(金)	オンライン	7人
10	成年後見制度出前講座	3月13日(月)	蒲生一丁目自治会館	11人

(イ) 福祉関係者向け研修会の実施

成年後見制度を必要とする方に多方面から情報が届き、制度の普及や活用促進がなされるよう、福祉関係者に向けた研修を実施しました。

期 日	会 場	内 容	講 師	参加及び 視聴回数
9月21日(水)	就労訓練施設 しらこぼと	「成年後見制度と 意思決定支援」	認定社会福祉士 星野 美子 氏	8人
9月28日(水)				23人
10月18日(火)	中央市民会館			78人

イ 成年後見制度利用に関する相談及び申立て手続き支援

電話、窓口、訪問にて成年後見制度に関する相談に対応しました。また、実際に申立を希望される方に対し、申立書の書き方や必要書類等説明を行いました。

〈相談・問合せ件数〉

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
高齢者	712	670	855	1,024	1,376	134.4
障がい者	208	187	181	265	364	137.4
その他	107	45	41	80	46	57.5
合 計	1,027	902	1,077	1,369	1,786	130.5

〈相談者別内訳〉

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
本人	84	91	98	113	141	124.8
親族	233	212	259	328	368	112.2
行政(越谷市)	246	182	205	268	387	144.4
地域包括支援センター	67	100	93	115	127	110.4
相談支援センター	—	—	9	53	30	56.6
福祉関係者	170	150	168	178	246	138.2
民生委員	6	2	1	0	3	—
社協	14	15	10	32	31	96.9
金融機関	5	4	18	7	4	57.1
医療機関	67	62	91	96	153	159.4
知人・近隣住民	3	5	14	26	13	50.0
専門職	109	41	96	134	241	179.9
行政(他市)	7	9	3	5	4	80.0
匿名	3	7	4	2	1	50.0
その他	13	22	8	12	37	308.3
合 計	1,027	902	1,077	1,369	1,786	130.5

〈相談内容別内訳〉

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
成年後見制度 について	373	365	451	698	1,180	169.1
申立手続きに ついて	558	440	462	699	940	134.5
金銭・財産管 理について	49	54	68	134	184	137.3
将来に対する 不安	88	104	73	65	55	84.6
後見人等業務 について	67	60	53	92	283	307.6
センターにつ いて	52	33	15	35	5	14.3
他機関の紹介	4	3	17	11	48	436.4
任意後見	—	—	25	41	70	170.7
その他	12	13	58	74	184	248.6
合 計	1,203	1,072	1,222	1,849	2,949	159.5

※ 1回の相談で複数の相談を受ける場合あり。

ウ 支援方針の検討及び受任調整に係る会議の開催

成年後見制度の利用に関する相談の中で、成年後見制度の必要性や申立人、候補者について審議が必要なケースについて、関係者によるケース会議及び後見人等候補者団体によるケース検討会議に諮り、成年後見制度に係る方針の検討を行いました。

〈ケース会議の開催〉

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開催回数		60回	87回	63回	57回	66回
内訳	高 齢	26件	56件	44件	37件	50件
	障がい	11件	31件	19件	20件	16件

〈ケース検討会議の開催〉

(単位：件)

	期 日	内 容		区 分	
		協議	報告	高齢	障がい
1	4月19日(火)	5	0	4	1
2	5月16日(月)	4	0	3	1
3	6月24日(金)	5	0	5	0
4	7月20日(水)	5	0	4	1
5	8月25日(木)	進捗状況報告			
6	9月28日(水)	2	0	0	2
7	10月27日(木)	1	4	5	0
8	11月29日(火)	7	0	6	1

9	12月26日(月)	2	1	3	0
10	1月24日(火)	2	1	1	2
11	2月13日(月)	2	0	1	1
12	3月22日(水)	5	0	3	2
合 計		40	6	35	11

出席者：行政（地域包括ケア課、障害福祉課、生活福祉課管理職）、弁護士、司法書士  
社会福祉士、行政書士、税理士、社会保険労務士

〈ケース検討会議後の状況〉

(単位：件)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
検討件数	高齢	22	6	17	26	35
	障害	11	5	4	9	11
合 計		33	11	21	35	46
申立てに 至った件数 (令和5年3月末)	高 齢	22	6	14	18	20
	障がい	11	5	4	7	6

エ 成年後見業務に係る関係機関の情報提供及び連携

成年後見に係る関係機関へ直接出向き、情報収集及びセンターの事業内容の説明等を行いました。また、相談窓口で専門職等の情報を希望される方に情報提供を行いました。

## ② 市民後見人養成事業（市受託事業）

ア 市民後見人への就任支援

〈市民後見人受任状況〉

(単位：人)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
受任件数	高 齢	4	6	7	7	5
	障がい	8	11	11	10	9
合計		12	17	18	17	14
累計受任件数		15	21	24	25	25
〈年度ごとの新規受任及び終了件数〉						
受任件数		2	6	3	1	0
終了件数		0	1	2	2	3
増減数		2	5	1	△1	△3

※ 令和4年度末現在の受任件数（14件）の内訳：当協議会との複数後見 13件  
専門職との複数後見 1件

(ア) 市民後見人候補者名簿の記載事項変更及び管理

〈市民後見人候補者名簿登録状況〉

(単位：人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新規登録	7	1	0	0	20

抹消	0	1	1	1	1
登録者	34	34	33	32	51

(イ) 継続研修の実施

市民後見人候補者名簿登録者を対象に市民後見人として就任及び活動するための更なる知識等の習得のため、年4回継続研修を実施しました。

期 日	内 容	講 師	参加者数
7月29日(金)	レクリエーション ～ようこそ4期生～	公益財団法人日本レクリエーション協会 津幡 佳代子氏	34人
9月15日(木)	介護保険制度について	成年後見センター埼玉東部 石崎 志津子氏	33人
11月15日(火)	障害サービスについて	NPO法人 結 中山 真司氏	40人
2月22日(水)	生活保護制度について	越谷市役所生活福祉課 調整幹 三田寺 学氏	36人

(ウ) 受任調整

市民後見人候補者が後見人等に受任できるよう、相談に応じ、必要な手続き等の支援を行いました。

○受任前相談

〈受任前相談件数〉

(単位:件)

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
26	27	36	20	9	45.0

○市民後見人選定会

ケース検討会議にて、市民後見人の受任が適当と判断された案件について、市民後見人候補者名簿の中から後見人等候補者を選定する会議を行いました。

- ・開催回数 1回
- ・検討案件 1件(障がい1件)

イ 市民後見人の活動支援

(ア) 市民後見人活動マニュアルの見直し及び配付

市民後見人がスムーズに後見活動を行うことができるよう、マニュアルを配付し、後見活動を行うに当たっての留意事項について説明を行いました。

(イ) 活動状況の把握及び相談

市民後見人に対し、後見活動が適正に行われるよう活動状況の把握を行うとともに、市民後見人からの相談に応じました。

〈相談件数〉

(単位:件)

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
205	313	215	409	325	79.5

## ウ 市民後見人の研修

市民後見人として活動している方を対象に、後見人としての知識及び資質の向上を図ることを目的に研修会を実施しました。

期 日	会 場	内 容	講 師	参加者数
12月6日(火)	障害者福祉センターこぼと館	「当事者の思いを知る」	一般社団法人 発達精神プロシューマー協会 かえるカフェ理事 兒玉 宣昭氏	10人

### ○市民後見人リーフレットの作成及び配布

市民後見の普及啓発に向けたリーフレットを作成し、関係機関に配布しました。

- ・作成部数 2,000部
- ・配布先 44か所(行政機関、市内大学等)

### ③ 協議会の開催(市受託事業)

越谷市成年後見制度利用促進計画に基づき、地域連携ネットワークの中核となる機関として、専門職団体など地域の関係者が連携し、地域課題の検討、調整、解決に向けて継続的に協議する協議会を開催しました。

期 日	会 場	内 容
7月26日(火)	中央市民会館 会議室	「協議会で検討する議題について」等
2月8日(水)	越ヶ谷地区センター 会議室	「専門職との連携・協力体制について」

### ○参加団体

さいたま家庭裁判所越谷支部

埼玉弁護士会 越谷支部

公益社団法人 成年後見センター・リーガルサポート埼玉支部

公益社団法人 埼玉県社会福祉士会 権利擁護センターぱあとなあ 埼玉

一般社団法人 コスモス成年後見サポートセンター 埼玉県支部

関東信越税理士会 越谷支部

一般社団法人 社労士成年後見センター 埼玉 東埼玉支部

### ④ 法人後見事業の実施(自主事業)

成年後見制度の利用に関する相談の中で、他に適切な候補者がいない場合は、当協議会が法人として後見人等を受任し、身上監護、財産管理等の支援を行いました。

また、市民後見人と共同で後見人等を受任し、市民後見人の負担軽減を図り、安定的な後見活動ができるよう支援を行いました。

〈法人後見受任状況〉

(単位:件)

	区分	類型	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度末受任件数	高齢	後見	5(4)	8(5)	9(6)	8(5)	7(3)
		保佐	3(1)	3(1)	2(1)	2(1)	2(1)
		補助	0	0	0	0	0
	障がい	後見	16(7)	18(9)	16(8)	16(8)	18(8)
		保佐	4(1)	5(2)	6(3)	5(2)	5(2)
		補助	0	0	0	0	0
合 計			28(13)	34(17)	33(18)	31(16)	32(14)

〈新規受任件数及び内訳〉

(単位:件)

	区分	類型	申立人	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新規受任件数	高齢	後見	市長	1(1)	4(1)	2(2)	0	1
			本人・親族等	0	2(1)	1	0	1
		保佐	市長	0	0	0	0	0
			本人・親族等	0	0	0	0	1
		補助	市長	0	0	0	0	0
			本人・親族等	0	0	0	0	0
	障がい	後見	市長	4(1)	2(2)	0	0	1
			本人・親族等	0	0	0	0	1(1)
		保佐	市長	1	1(1)	1(1)	0	0
			本人・親族等	0	0	0	0	0
		補助	市長	0	0	0	0	0
			本人・親族等	0	0	0	0	0
合 計				5(2)	9(5)	4(3)	0	5

〈終了件数及び内訳〉

(単位:件)

	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
終了件数	高齢	3	3(1)	3(1)	1(1)	4(2)
	障がい	0	0	2(1)	1(1)	0
合 計		3	3(1)	5(2)	2(2)	4(2)

※ ( ) …内、複数後見等の受任

※ 令和4年度末の複数後見等(14件)の内訳: 市民後見人との複数後見 13件  
親族との複数後見 1件

〈終了の内訳〉

(単位:件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
死亡	3	3(1)	5(2)	2(2)	4(2)
他に引継ぎ	0	0	0	0	0

※ ( ) …内、複数後見等の受任

〈被後見人の居所の内訳〉

(単位：件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
在 宅	14(5)	20(9)	20(12)	20(11)	17(7)
施 設	10(6)	12(8)	11(6)	10(5)	13(6)
長期入院	4(2)	2	2	1	2(1)
合 計	28(13)	34(17)	33(18)	31(16)	32(14)

※ ( ) …内、複数後見等の受任

### ⑤ みまもり・あんしん事業（自主事業）

親族を頼れない等の理由で将来に不安を抱える一人暮らし高齢者の方等が孤立せず、地域で安心して自立した生活が送れるよう、定期的な見守りや入院及び入所時等の臨機の支援を行いました。平成28年(2016年)7月から事業を開始し、事業の広報・周知を行うとともに将来に不安を抱える方の相談に応じています。

#### ア 事業実施状況

〈年度末契約件数〉

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
単 身	6	8	9	13	11
夫 婦	0	1	2	2	1
その他	0	0	0	0	0
合 計	6	9	11	15	12

〈契約状況〉

(単位：件)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
単 身	契約	1	5	1	5	1
	解約	0	3	0	1	3
夫 婦	契約	0	1	1	0	0
	解約	0	0	0	0	1
その他	契約	0	0	0	0	0
	解約	0	0	0	0	0

〈相談件数〉

(単位：件)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
単 身	初回	36	22	21	12	24	200.0
	継続	56	115	65	106	89	84.0
夫 婦	初回	5	4	2	5	7	140.0
	継続	0	7	1	10	12	120.0
その他	初回	19	10	6	1	9	900.0
	継続	7	4	11	5	26	520.0
問合せ		2	8	0	6	0	-
合 計		125	170	106	145	167	115.2

〈相談内容〉

(単位：件)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比(%)
見守りについて	2	18	10	25	64	256.0
日常生活支援について	3	3	1	0	11	—
臨時の支援について	2	14	1	17	31	182.4
公正証書遺言について	0	8	4	3	23	766.7
入院保証について	17	69	43	33	74	224.2
施設入所保証について	1	13	9	14	8	57.1
死後事務手続きについて	15	56	52	28	94	335.7
書類等預かりについて	21	4	0	2	5	250.0
事業内容について	80	49	25	33	105	318.2
その他	2	7	1	11	29	263.6
合計	143	241	146	166	444	267.5

※ 1回の相談で複数の相談を受ける場合あり。

イ あんしんノートの配付

自身が亡くなられた時や自分の意思を伝えることが出来なくなってしまった時のために自分の思いや希望を書き記しておくことができるよう「あんしんノート」を無料で配付しました。

○配付件数及びアンケート結果（今年度までの累計数）

○配付件数 4,900部

○アンケート回収 3,219人

〈年齢層〉

(単位：人)

10~20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	不明
7	25	89	215	748	1,488	588	42	19

〈あんしんノートを必要とする理由〉

(単位：人)

自分の気持ちの整理	周りの人に気持ちを残す	財産の整理をするため	将来を考える為	ノートに興味があった	家族に渡したい
1,689	1,409	948	993	921	1,163

※ 複数回答あり。

⑤ その他

ア 成年後見センターの運営に関すること

(ア) 成年後見センター運営委員会

センターの適正な運営に向け、有識者による運営委員会を開催しました。

期 日	会 場	内 容
6月29日(水)	中央市民会館 会議室	令和3年度成年後見センター事業報告について 令和4年度成年後見センター事業計画について
11月15日(火)		令和4年度(上期)成年後見センター事業報告について 令和5年度成年後見センター事業計画(案)について

(イ) 方針検討委員会

ケース検討会議で、当協議会が後見人等の業務を行うことが適切であるとの意見があった案件についての後見人等の受任、みまもり・あんしん事業の契約締結や変更に関する事、成年後見センター業務に係る重要事項に関する事について審議を行いました。

・会議開催回数 13回

イ その他の会議等への出席

期 日	内 容
8月4日(木)	越ヶ谷地区ケース検討会議(困難型)
2月15日(水)	家事関係機関との連絡協議会
2月16日(木)	重層的支援会議・支援会議

### Ⅲ 収益事業

#### 1 収益事業

##### (1) 自動販売機設置事業

市役所や老人福祉センター等の公共施設に障がいのある方などが利用しやすい  
バリアフリータイプの自動販売機を設置し、その手数料収入を社会福祉事業に還  
元しました。

〈設置台数及び販売手数料〉

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年度比 (%)
設置台数(台)	36	36	36	30	28	93.3
販売手数料(円)	8,582,184	8,179,037	6,621,141	6,347,767	6,336,773	99.8